



<http://hokkaido-shinkansen-navi.jp/>

[編集・発行]

北海道総合政策部交通政策局新幹線推進室

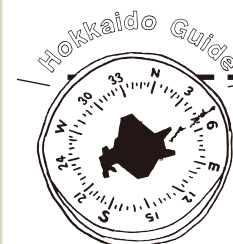
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL(011)231-4111 FAX(011)232-4643

発行 平成30年2月

※本誌全ての無断転載を禁じます。※本紙に掲載されている情報は、2018年1月時点のものです。
※予告なく変更される場合がありますので、事前に各施設へお問合わせください。

北海道新幹線を活用した 教育旅行ガイドブック



GUIDE BOOK

WELCOME HOKKAIDO



トンネルを抜けると、
そこは学び場でした。

新幹線の先にあるのは 未来につながる学び場

北海道

北海道だから提案できる教育旅行があります。

2020年より順次実施される全面改訂となった学習指導要領にて、新たに設定された「主体的・対話的で深い学びの実現」。その目的実現に向け、教育旅行はこれまで以上に重要性が増しています。教育旅行は、子どもたちの未来を生きる力を育み、未来の創り手となる資質や能力を高めるためのもの。だからこそ、「どこに行くか」だけでなく、「何をするか」「何ができるか」も含めた行き先選びがとても大切です。北海道は豊かな自然に加え、チャレンジ精神にあふれた独自の歴史や文化が根付いている土地柄。子どもたちの未来に向けて価値ある学びをもたらしてくれる、「北海道だからできること」がたくさんあります。

「生きる力」を育む8つのテーマ

北海道だからこその学び！

P.5 アイヌ文化

P.9 縄文文化

P.13 江戸～幕末の歴史

P.17 自然

P.21 食

子どもたちの未来を育む！

P.29 観光

P.33 チャレンジ精神

P.37 スポーツ文化

北海道は「開拓の歴史」のイメージから歴史が浅いと思われがちですが、実際には旧石器時代や縄文時代の遺跡がたくさんあります。さらにアイヌの歴史や、江戸時代から続く移住者が築いた文化など、これからの社会で必要とされる＜自然との共生＞＜多文化共生＞を学べる場がたくさんあります。また、昨今では初音ミクやロケット開発など、未来へ向けたチャレンジが数多く行われているのも北海道が持っている魅力の一つです。

このガイドブックでは、新幹線でつながる道南エリアと道央エリアの施設や体験を中心にピックアップ。「北海道から学べること」を8つのテーマでご提案いたします。ぜひ未来の創り手である子どもたちの育成にご活用ください。

北海道でこれからの時代を「生きる力」を学ぼう！

名称の由来

北海道という名称が付いたのは明治2年。名付け親は幕末の探検家として有名な松浦武四郎で、彼が提案した6つの候補にあった「北加伊道」の「加伊」を「海」に変更して「北海道」になったとされています。

北海道のシンボル

北海道の都道府県章、開拓使時代の旗章のイメージを七光星として現代的に表現。厳しい風雪に耐え抜いた先人の開拓者精神と、雄々しく伸びる北海道の未来を象徴しています（昭和42年5月1日制定）。



北海道章

北海道の鳥
タンチョウ

北海道の木
エゾマツ

北海道の花
ハマナス

データで見る北海道

面積	83,424km ²
人口	5,381,733人
人口密度	68.6人/km ²

※人口・人口密度は2015年国勢調査人口等基本集計結果より

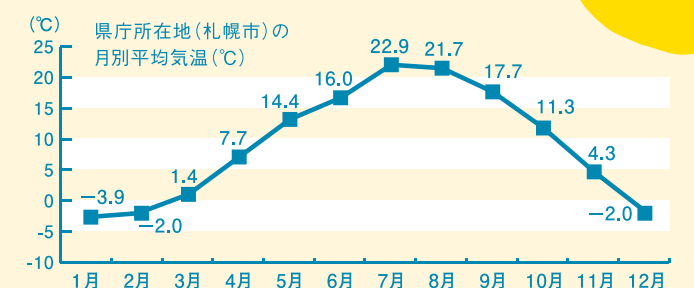
北海道は日本最大の面積を持つ都道府県。国土面積の約22%を占め、そこに全国8位の人口が住んでいます。人口密度が日本一低く、のびのび暮らしているように感じますが、実際は札幌に人口が集中。市町村による密度の差が激しい側面があります。



北海道は
179の
市町村から
できています！

北海道の気温

北海道は日本で唯一亜寒帯に属しています。寒暖の差が激しい気候であり、1902年に旭川で観測された-41.0℃は日本の観測史上最低気温として100年以上経った今も更新されていません。近年は夏の気温が高くなるが多くなってきていて、北海道が日本で最も暑いということも珍しくなくなっています。



※気象庁 統計期間2017年のデータより(単位は℃)

北海道新幹線の開業によって / 北海道と東北がさらに 密接に！

2016年3月に開業した北海道新幹線によって、東北と北海道の距離は大幅に近づきました。この新幹線を活用し、東北から北海道へ教育旅行で訪れることは、単に学びを深めるだけでなく、将来の選択肢を広げる可能性にも満ちています。

北海道新幹線つなげる応援大使「どこでもユキちゃん」



2016年

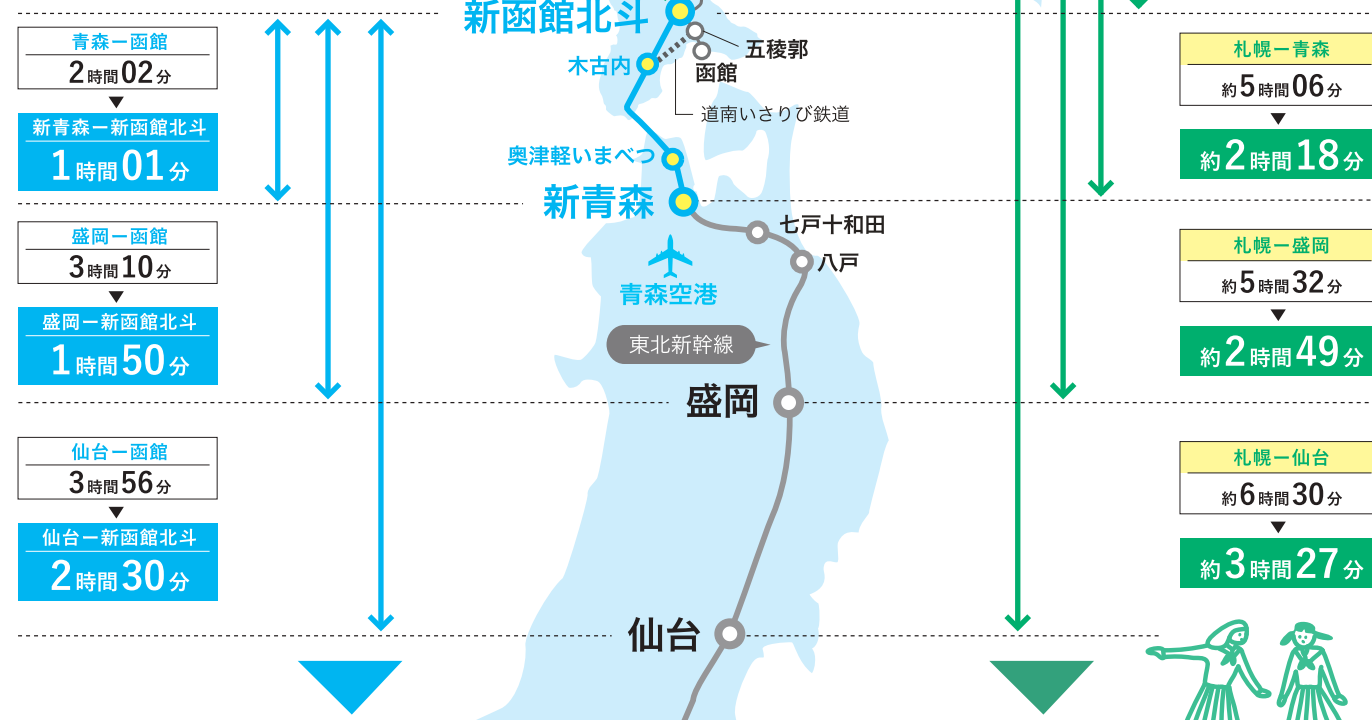
新青森—新函館北斗開業

2030年度末(予定)

札幌開業

※平成27年1月14日開催 政府・与党整備新幹線検討委員会より

北海道新幹線を利用して
青函トンネルを往来する人は
**新幹線開業前の
1.6倍に増加！**
(2016年度)



**「より速く」「より多く」
を実現！**

北海道と東北の新たな交流と
連携を生み育んでいます

※1日当り定員約9,500人

**北海道と東北が
「日帰り圏内」に！**

新たな交流と連携のステージへ

※開業後の所要時間は交通政策審議会、整備新幹線小委員会資料、平成28年4月時刻表を基に算出。

2030年度末(予定)の北海道新幹線の札幌開業によって
**もっと変わる、大きく変わる、
私たちの未来**

現在 東北に住む10代の生徒

北海道は
日常から離れた旅先・学び場

未来 東北出身の20代の社会人

北海道が
日常の生活圏・遊び場・仕事場に！

約10年後



柔軟な心と新鮮な感性を持つ10代のうちに
北海道の“今”を“生”で体感することが
未来への生きる力となる！

と私たちは信じています。



That's why Hokkaido

アイヌ文化を学ぶ

学習のねらいと その効果

- ◎アイヌへの理解を深め、先住民族の歴史を考える。
- ◎北海道の気候風土に根ざしたアイヌの暮らしを体験し、持続可能な社会のあり方を学ぶ。
- ◎それぞれの文化を尊重し、互いを認め合う大切さを学ぶ。



アイヌ古式舞踊

教科書では伝わらない アイヌの世界観を感じられる場所

古くから、北海道や千島列島、サハリン、東北地方の各地で育まれてきたアイヌ文化。「コタン(集落)」と呼ばれる生活拠点が多数存在していた北海道には「札幌市アイヌ文化交流センター・ピリカコタン」「平取町立二風谷アイヌ文化博物館」「北海道立北方民族博物館」「北海道立アイヌ総合センター」など、100点以上の展示では約20か所、小規模な展示で約400か所の関連施設があり、充実した環境でアイヌ文化について学ぶことができます。なかでも「アイヌ民族博物館・しらおいポロトコタン」は、アイヌの人々とコミュニケーションを取りながら多彩な文化を体験できる施設として高く評価され、教育旅行だけで年間約5万人が訪れています。

※アイヌ民族博物館は2018年3月末で閉館し、2020年4月24日(金)に民族共生象徴空間として生まれ変わります。

2020年、白老ポロト湖畔に 民族共生象徴空間が誕生

北海道には、アイヌ文化の世界を五感で体感できる地域が各地にあります。多彩な神々(カムイ)を敬い、恵みに感謝を捧げる儀礼や歌、歴史や言語、衣服や食文化など、北海道の厳しい気候風土に根差した独自の文化を、衣服の感触を手で確かめたり、手拍子をして一緒に歌や踊りを楽しみながら見学・体験することができます。

また、国内それぞれの文化は尊重される

ものであり、互いを認め合い受け入れることの大切さも伝えていきます。

2020年4月には、胆振管内白老町に「民族共生象徴空間」が誕生します。風光明媚なポロト湖のほとりに、東北以北で初の国立博物館となる国立アイヌ民族博物館が開設されるほか、国立民族共生公園内には、来場者を迎えるチキサニ広場や、飲食・物販ゾーンやガイダンス機能を備える扇状のエントランス棟、「交流の輪」をイメージし、演舞ステージを備える体験交流ホール、体験学習館や工房が整備されます。新千歳空港からのアクセスもよく、国の重要無形民俗文化財であり、ユネスコの無形文化遺産に登録された貴重なアイヌ古式舞踏などの文化体験が行えます。

事前に
学ぼう！

副読本で歴史を学ぶ

現地での理解を深めるために、公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構では、副読本「アイヌ民族：歴史と現在～未来を共に生きるために～」を発行・公開しています。副読本は、小学生用・中学生用・教師用指導書の3種類を用意しており、用途に応じた活用ができますので、事前学習に最適です。【公開ページURL】<http://www.frpac.or.jp/history/index.html>

体験後に
考えよう！

暮らしの中の多様性に気付く

歴史や文化を体験するだけでなく、国内それぞれの文化を尊重し、自身の暮らしの中で、互いを認め合い受け入れることの大切さについても学びます。

Specialist Interview



(一財)アイヌ民族博物館
伝承課学芸員
押野 朱美さん

アイヌである祖母が口ずさむ歌や不思議な神話に心魅かれて学芸員に。現在アイヌ文化の講話をはじめ伝統楽器の演奏、歌、古式舞踏などを担当する。

※インタビューは2017年12月現在のものです。

Q. 押野さんが おすすめの体験学習は？

1時間に1回、歌や踊りなどの定時公演(25分間程度)を行っていて、公演を観覧した後の体験学習がおすすめです。プログラムで一番のおすすめは「ムックリ(竹でできた楽器)」の演奏体験です。ビヨンビヨンと鳴る独自の響きは学生さんたちはとても喜びます。そして公演の中でも紹介されますが、「イヨマンテリムセ(熊送りの儀礼のときに踊

持つものを見つけてほしいと思っています。

Q. ここでの学びを どう生かしてほしい？

実際にポロトコタンへ来て、一緒に歌ったり踊ったりする方がアイヌ文化に興味を持っていたかやすいですが、それだけではなく、「アイヌ」としての経験談など、そういった私たちの生の声を実際に聞くことで、学生さんたちには、未来に向けた視野を広げてほしいと思っています。

「アイヌ」ということだけで偏見に見られることはまだまだあります。偏見が大きくなると差別になってしまいます。ここでの体験が、アイヌ文化に興味を持つということに直接つながらなくても、学生さんが友達関係や将来でいろいろ考える時期になったとき、アイヌについての学びや偏見・差別の話が、生きる上での何かのヒントになれば、とてもうれしいです。



るもの)」は、白老地方ならではの踊りです。とても迫力のある「イヨマンテリムセ」を覚えて一緒に踊るプログラムもぜひ体験してほしいです。

Q. 教育旅行を通して 学んでほしいことは？

教科書を読むだけで体験できないことを感じてもらえたらと思います。ここでは、スタッフ一人一人が、積極的に学生さんとコミュニケーションを取るように心掛けています。アイヌがいるということを知って、さらにそれをきっかけに歴史なのか、踊りなのかわかりませんが、実際の体験を通じてさまざまな文化に触れて、そこから自分が興味を

Q. アイヌについて どう伝えていますか？

私自身がアイヌなので、学生さんたちに話しをするときはアイヌ目線で伝えるようにしています。「アイヌとは人間という意味なんだよ」「アイヌには文字がなく、口伝で歌や踊りなどが伝わってきているんだよ」など、文化や歴史についての話をします。その中でも、とくに私が話をするのは、祖母から聞いた話・学んだ話が多いです。そして自分がアイヌという立場で学生時代に受けてきたいろいろな経験などを学生さんたちに話します。

Q. アイヌ文化に 触れることの魅力とは？

アイヌは、自然界や身近なものに「カムイ(神)」の存在を認め、例えば狩猟採集をする前には安全を祈り、獲物などが捕れたときは恵みに感謝する祈りが行われていました。そして必要以上に獲物を捕りません。自然と共生するアイヌの営みは、文化として魅力があるだけではなく、現代を生きる私たちに持続可能な社会のあり方のヒントを与えてくれます。



Experience Facilities / アイヌ文化を体験できる施設

白老町

民族共生 象徴空間

2020年4月24日(金)開設予定

国立アイヌ民族博物館のほか、ポロト湖を背景に体験交流ホールで公開される予定の古式舞踏には一見の価値があります。また、アイヌの歴史や文化に関する学芸員の講話やムックリの製作・演奏体験などアイヌ文化への理解を深める多彩な体験プログラムが用意される予定です。

住所／白老郡白老町若草町(ポロト湖畔)
お問合わせ先／011-204-5185
(北海道環境生活部アイヌ政策推進室)

提供:文化庁



※画像はイメージです。

半日コース例

Half day

事前予約制

約40～60分

学芸員講話

講話のテーマは「アイヌ語」「アイヌと人権」など、学校の要望に対応し、研修先や宿泊先への出張講話(交通費・宿泊費等別途)も開催。

約30分

博物館見学

「私たちの世界(信仰)」など6つのテーマに沿って、過去から現在までを一体的に紹介します。

提供:文化庁



※画像はイメージです。

事前予約制

ムックリ製作

40～60分

アイヌの伝統楽器であるムックリを、彫刻刀や小刀で竹を削り、ひもを結んで作ります。完成後は実際に演奏し、楽器は持ち帰りも可能。



体験

約30分

ムックリ演奏

初めての方でも楽しめるムックリの演奏体験です。音の出し方や演奏方法を楽しく習得して、ムックリは記念に持ち帰りもできます。

事前予約制

体験



次の目的地へ

※上記のコースは、現在のアイヌ民族博物館におけるメニューを基としたイメージです。

平取町立二風谷 アイヌ文化博物館

住所／沙流郡平取町二風谷55 お問合わせ先／01457-2-2892
営業時間／9:00～16:30 定休日／11月16日～4月15日の月曜、冬季(12月16日～1月15日)
料金／小・中学生150(団体100)円、高校生400(団体350)円、
舞踏体験(約30分)35,000円～※団体は20名以上
<http://www.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/nibutani/>

アイヌの伝統文化が色濃く残る平取町沙流川流域に建つのが「平取町立二風谷アイヌ文化博物館」。館内は重要有形民俗文化財「北海道二風谷及び周辺地域のアイヌ生活用具コレクション」などを展示し、事前学習用にアイヌ文化に関するDVDや関連図書の紹介もしています。アイヌの工芸品も見ごたえ充分。



自然や神を敬うアイヌ民族の精神性を再現しています。

舞踏体験は最大210人まで体験することが可能。

体験



貴重な資料のほか、地元の工芸家たちが伝える造形美豊かなアイヌ文化独特の木工作品を展示しています。

函館市北方民族資料館

人類学、考古学、民俗学の研究家であり、函館市にゆかりのある馬場脩、児玉作左衛門両氏により収集された北方文化についての貴重な資料を展示。体験学習講座は「北方民族文様の切り紙細工体験」などを行っています。



住所／函館市末広町21-7
お問合わせ先／0138-22-4128
営業時間／9:00～19:00
(4月～10月、11月～3月は～17:00)
定休日／月1回程度の館内整理日、展示替えおよび資料燻蒸のための臨時休館、年末年始
料金／学生150(団体120円)円※団体は20名以上
<http://www.zaidan-hakodate.com/hoppominzoku>

札幌市アイヌ 文化交流センター (サッポロピリカコタン)

札幌市南区の小金湯温泉郷にあり、豊かな自然に包まれた施設では、アイヌの生活用具や伝統工芸品など約300点を展示。事前予約制で札幌アイヌ協会(011-596-1610)によるアイヌ文化体験講座も開催しています。

住所／札幌市南区小金湯27
お問合わせ先／011-596-5961
営業時間／8:45～22:00
(展示室・庭園は9:00～17:00)
定休日／月曜、祝日、毎月最終火曜、年末年始
料金／展示室観覧料 中学生以下無料、高校生100(団体90)円※団体は20名以上
<http://www.city.sapporo.jp/shimin/pirka-kotan>



北海道博物館 (アイヌ民族文化研究センター)

2015年4月にオープンした北海道の歴史や文化、自然について総合的に学べる博物館。教材作成やモデルコースの提案など、さまざまな工夫を凝らしています。ウェブサイトで「学校利用ガイド」を閲覧・ダウンロードできます。



住所／札幌市厚別区厚別町小野幌53-2
お問合わせ先／011-898-0466
営業時間／9:30～17:00(5月～9月、10月～4月は～16:30) 定休日／月曜(祝日・振替休日の場合は直後の平日)、年末年始、臨時休館あり
料金／総合展示室 中学生以下無料、高校生300(団体200)円※団体は10名以上、高校生10名以上の修学旅行による利用は無料
詳しくはお問合わせください。
<http://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp>

学習のねらいと
その効果

- ◎授業で習ったことをリアルに体感し、より深い学びへとつなげる。
- ◎世界に誇る日本特有の縄文文化への理解を高め、自然と共生する心を育む。
- ◎北と南の交流拠点として繁栄した北海道の縄文文化から東北とのつながりを考える。

縄文文化を学ぶ



縄文文化からアイヌ文化へ
今も北の大地に受け継がれる
“共生”の思想を学ぶ

左上／大船遺跡復元建物【函館市所蔵(提供)】 右上／白尻C遺跡出土の赤彩土器【函館市所蔵(提供)】 下／大船遺跡縄文のいわ【函館市所蔵(提供)】

縄文時代の北海道は 南と北の文化交流の拠点

縄文文化は、約1万5000年前から2300年前まで1万年以上にわたって日本列島全体に存在した先史文化です。当時の人々は、気候変動や自然環境の変化にも巧みに適応しながら、狩猟、漁労、採集を暮らしの基盤に、共生と循環の思想を根底に定住を達成し、心豊かに暮らしていました。これは、世界の他地域における新石器文化とは全く異なる日本特有のもので、人類史にとって極めて貴重な文化です。

なかでも北海道は、地理的に北東部はサハリン島や千島列島などの玄関口、南東部は津軽海峡を挟んで本州と向き合っている

ことから、北と南の文化が流入し交差する舞台でした。日本列島の大部分が水稲耕作を基盤とした弥生文化に移行した後も、農耕を本格的に採用せず、続縄文文化、オホーツク文化、擦分文化などを経てアイヌ文化へ続く独自の歴史が展開されたことも大きな特徴です。北海道では、約7,000か所の縄文遺跡が確認されており、とりわけ学術的価値が高い「大船遺跡」(函館市)や「鶯ノ木遺跡」(森町)など計16か所の遺跡が国の史跡に指定されている貴重な地域です。

縄文文化の中でも 異彩を放つ津軽海峡文化圏

また、北海道南部と東北北部では、津軽

海峡を挟みながらも、活発な文化交流が展開され、縄文文化前期から中期にかけての円筒土器文化、後期の十腰内文化、晩期の亀ヶ岡文化など、縄文文化全般を通じて同一の文化圏が形成されました。“津軽海峡文化圏”とも呼ばれるこの地域には、世界最古級の土器や漆器が出土したほか、大規模環状列石、精神性・芸術性豊かな土偶が集中的に分布。本格的な定住の始まりから社会の成熟した様子、生活跡の実態など、縄文文化の謎を紐解く貴重な“タイムカプセル”として世界から注目されています。北海道と青森県、岩手県、秋田県では、「北海道・東北北の縄文遺跡群」を、ユネスコの世界文化遺産の登録を目指して共同で取り組んでいます。

事前に
学ぼう！

縄文文化をおさらいしておこう！

世界の代表的な古代文明の紀元や歴史を学び、縄文文化の世界史的な位置づけを把握しておきましょう。

体験後に
考えよう！

縄文時代の精神を今に生かそう！

自然と共生し、多様なコミュニティが価値観を認め合った縄文文化の精神を、現代、未来にどう生かすかを考えましょう。

国宝 中空土偶(カックウ)／函館市

Specialist Interview



北海道環境生活部
文化・スポーツ局
文化振興課
縄文世界遺産推進室
特別研究員
阿部 千春さん

旧南茅部町教育委員会
埋蔵文化財調査室長、
函館市縄文文化交流セ
ンター館長などを経て、
2015年より現職に就任。

Q. 北海道における 縄文文化の魅力とは？

縄文文化は、日本列島全体に広がっていますが、それは画一的なものではなく、6～7の地域文化圏に分かれていたといわれています。特に北海道には、厳しくも豊かな自然環境が現在も残されており、遺跡に立つと、自然の恵みのなかで暮らした当時の様子が実感できます。この「自然との共生」が、縄文文化を理解するキーワードです。「人間は自然の一部であり、自然があるからこそ生かされている」という縄文文化の精神は、アイヌ文化に受け継がれ、その心は、現代の北海道にも根付いています。

Q. 北海道にある 縄文遺跡の特徴は？

北海道の縄文遺跡は約7,000か所にのぼり、住居、集落の跡、土器、石器、墓場や水場、狩りの跡なども確認されていますが、なかでも、数多く見つかったのが貝塚。例えば、伊達市の「北黄金貝塚」からは、貝殻や魚・海獣の骨だけでなく、縄文文化の人々の墓やシカの頭の骨を並べた儀式的跡も見つかっています。貝塚はすべての命

やモノに感謝し、恵みをもたらしてくれる世界へ“送る場”だったと考えられています。函館市の「大船遺跡」や「垣ノ島遺跡」などの盛土遺構も、同様に祭祀や儀礼の場といわれ、このような送り場は、縄文の精神文化を伝えてくれる、貴重な空間といえます。

Q. 北海道と東北の つながりは？

北海道と本州の間には「しよっぱい川」と呼ばれる最短距離が約18kmの津軽海峡があり、毎時約3ノットの速度で日本海から太平洋に潮が流れています。しかし、縄文人はこの流れの速い海峡を交流ルートとして、ヒスイ、黒曜石、漆製品などを流通させていました。



Q. 教育旅行を通して 学んでほしいことは？

北海道南部と津軽海峡を挟んだ東北北部は、同じ特徴の形や紋様の土器を使用するなど、縄文時代を通じて共通の文化圏をつくっていました。青森の土器文様が変わると函館でも変わる。土器の文様は民族衣装のデザインと同じように、同じ仲間だという意識の表れでもあり、それが一万年以上も続いたのです。縄文人は丸木舟で津軽海峡の

荒波を乗り越えて交流し、共有の文化圏を作っていました。現在は新幹線時代になり、まさに現代の丸木舟として新たな交流の時代が始まったわけですが、縄文人から交流の大切さを学んでほしいと思います。



Q. 縄文文化を通じて 学んでほしいことは？

自然と共生した縄文人は、人間はもちろん、動物や植物、さらには自分たちが使った道具類など、すべてのものに命が宿っていると考えていたようです。子どもの足形を粘土板に写し取った土製品なども出土しています。遺跡や出土遺物を通して、自然や命を大切にする「縄文の心」を感じてほしいと思います。

Q. その学びを どう生かしてほしい？

グローバル化が急速に進んでいる現代において、文化の多様性を理解し、多様な価値観を認め合うことは、平和な国際社会の形成にとって極めて重要なことです。世界的にも稀有な縄文という過去を見つめながら、これからの時代を見据える「未来学」の視点で、感じたこと、学んだことを生かしてくれたら嬉しいです。



Experience Facilities



縄文文化を体験できる施設

函館市縄文文化交流センター

南茅部縄文遺跡群を中心に、函館市の縄文遺跡から出土した土器や石器、足形付土版など数多くの遺物を展示する博物館。なかでも常設展示の「中空土偶」は、2007年に北海道唯一の国宝に指定された貴重な遺物です。多彩な体験学習プログラムや史跡大船遺跡のガイドも実施。

住所／函館市白尻町551-1
お問合わせ先／0138-25-2030
営業時間／9:00～17:00、11～3月は～16:30
料金／小・中学生、高校生150(団体120)円
※団体は20名以上
定休日／月曜(祝日の場合は営業、翌日休)、毎月最終金曜、12月29日～1月3日
<http://www.hjcc.jp/>

半日コース例

Half day

/start

館内見学

約30分

縄文文化の特性や暮らし、精神などを3つのカテゴリーに分かれた展示室で紹介。専門員がわかりやすく解説してくれます。

ミニチュア土器づくり

約60分

粘土を使い、ミニサイズの縄文土器をつくります。体験学習プログラムは8種類あり、1グループの中で複数を選択することも可能。

体験

料金／350円

史跡大船遺跡

約30分

函館市縄文文化交流センターから約4kmの距離にある集落遺跡。大型竪穴式住居や盛土遺構が復元された「縄文のいわ」などを見学できます。

住所／函館市大船町 お問合わせ先／0138-25-2030
(函館市縄文文化交流センター)
営業時間／9:00～17:00、4月20日～11月12日まで見学可能
定休日／期間中は無休 料金／無料

次の目的地へ

史跡 北黄金貝塚公園

住所／伊達市北黄金町75 お問合わせ先／0142-24-2122(北黄金貝塚情報センター)
営業時間／9:00～17:00 定休日／12～3月
料金／見学無料、園内・資料館の解説1団体15名まで500円、16～45名まで1,000円、模擬体験発掘(約45分)300円、黒曜石のナイフづくり(約45分～)500円、釣針づくり(約45分)300円

約7000年から4500年前の縄文前期・中期の集落遺跡で、縄文文化を体感できる史跡公園。復元された貝塚や竪穴式住居を見学できるほか、出土品などを展示する「北黄金貝塚情報センター」も併設。教育旅行の見学は、園内・資料館の解説が必須条件になります。



復元された竪穴式住居は、内部も見学でき、広さや明るさを体感できます。



出土品の展示や北黄金貝塚の解説をする「北黄金貝塚情報センター」。



体験

鹿の角を紙やすりで磨いて釣針をつくる「釣針づくり」など多彩なプログラムが楽しめます。

わしのき 鷺ノ木遺跡

縄文時代後期の竪穴墓域と、北海道最大級のストーンサークル(環状列石)からなる国指定の遺跡。現在は、一般公開に向けて整備中ですが、主に6～10月の期間は、事前予約で見学(無料)できる場合があります。出土品や発掘調査時の写真を展示する「森町遺跡発掘調査事務所」は通年開館。



森町遺跡発掘調査事務所
住所／茅部郡森町森川町292-24
お問合わせ先／01374-3-2240
営業時間／9:00～16:00
定休日／土・日曜、祝日、年末年始
料金／見学無料

入江・高砂貝塚館

入江・高砂貝塚の発掘調査によって出土した約200点のさまざまな遺物を展示。なかでもイノシシやシカなど動物の骨で作られた骨角器は、繊細な装飾が施され、縄文文化の優美な意匠を見ることが出来ます。高砂貝塚のお墓から見つかった副葬品なども数多く展示されています。

住所／虹田郡洞爺湖町高砂町44
お問合わせ先／0142-76-5802
営業時間／9:00～17:00
定休日／月曜日(祝日の場合は翌日)、12～3月
料金／小中高生100(団体50)円※団体は15名以上
<http://www.town.toyako.hokkaido.jp/iritaka/index.html>



千歳市教育委員会 埋蔵文化財センター

290か所以上の遺跡が発見された千歳市の貴重な埋蔵文化財を展示。千歳市や支笏湖の地形、地層の変遷を紹介する「千歳のおいたち」、縄文時代の「このころの文化」など4つのテーマを通して、縄文時代を中心とした千歳市の文化と歴史をわかりやすく学ぶことができます。



住所／千歳市長都42-1
お問合わせ先／0123-24-4210
営業時間／9:00～17:00
定休日／土曜、日曜(第2を除く)、祝日、年末年始
料金／無料
<https://www.city.chitose.lg.jp/docs/95-43785-169-915.html>

That's why Hokkaido

江戸から幕末を学ぶ

学習のねらいと その効果

- ◎江戸から幕末に重要な役割を果たした北海道の歴史を学び、日本の歴史理解を深める。
- ◎北前船の寄港地に残る史跡や歴史を体感し、商業がもたらす文化やつながりを考える。
- ◎近代日本の礎となった歴史や当時の人々の考え方を学び、現代を生きるための考え方を学ぶ。

道南地方の歴史文化を体感し 日本の近代化や商業の歩み、 東北とのつながりを考える



姥神大神宮渡御祭(江差町)の様子

江戸時代に「石高」ではなく 「交易」で財政を担った松前藩

北海道の道南地方は、江戸から幕末の歴史において重要な役割を果たしてきたエリアです。日本最北の藩として1604年に誕生した松前藩は、寒冷な北海道では米がとれないことから、他の藩のように石高で家格を決められることがありませんでした。では、どのように藩を運営したのか？それは、交易でした。松前藩は江戸幕府からアイヌとの交易を唯一許された藩で、本州では手に入らない北方諸地域の産物や毛皮などを独占的に取引するとともに、北海道でとれた水産物や木材なども扱いながら財政を成り立たせていました。そうした交易で活

躍していたのが蝦夷地と本州を行き来した商船「北前船」。藩は函館、松前、江差の3か所を藩の交易港とし、商船や商品に税金をかけることでも収益を上げ、特にニシン漁に沸いていた江差町は、最盛期のにぎわいが「江差の五月は江戸にもない」とうたわれるほど、その名を全国に轟かせていました。道南地方には日本でも特殊だった松前藩や北前船の歴史を今に伝える史跡が多くあり、江差町に残るニシン漁と交易の歴史文化は「日本遺産」に認定されています。

箱館戦争が伝える 現代日本への変遷と思想

幕末から明治へ、新たな時代に向けて起

きた新政府軍と旧幕府軍の戊辰戦争。道南地区は、その最後の戦いとなった「箱館戦争」(1868-1869年)の舞台でもあります。函館市内には旧幕府軍に合流した新選組の土方歳三にゆかりのある「五稜郭」をはじめ、幕末期の貴重な資料や収蔵品を展示した施設が多く点在し、戦場となった松前城がある松前町や館城のあった厚沢部町でも遺跡や遺構にふれることができます。また、江差町では戊辰戦争中に旧幕府軍の榎本武揚らを乗せて活躍した開陽丸を復元。沈没した江差沖の海底から引き上げた大砲などが展示されており、日本が歩んできた歴史はもちろん、当時の人々の考え方も垣間見られ、江戸から明治という近代社会へと移り変わっていく歴史をリアルに体感できます。

事前に
学ぼう！

藩や幕末の動きを予習しておこう！

体験時に違いや発見に気づけるよう、江戸時代の藩の経営や日本の幕末の動きを予習しておくといでしょう。

体験後に
考えよう！

歴史の前後関係を調べてみよう！

なぜ起きたのか、その後どうなったのかなどの前後関係を体験後に調べ、歴史の結びつきを深く理解しましょう。

Specialist Interview



江差町教育委員会
学芸員

宮原 浩さん

1968年、東京都調布市生まれ。日本近世史を専門に研究し、1999年より現職。江差町の日本遺産認定にも尽力する。

Q. 道南地区の 歴史の特徴とは？

道南地区は、江戸から幕末まで約270年の歴史の変遷が凝縮された面白い場所です。単に藩があっただけでなく、商業が栄え、開国によって地域の役割が変わっていった道南地区では、歴史的な学びはもちろん、商業の基礎や国造りの考え方など、多様な学びを得られます。江戸時代からどのように今の暮らしへと変化してきたかがよくわかるのが大きな特徴です。さらに松前城や五稜郭など、同じ場所でも時代によって異なる舞台として登場するところも多く、いろいろな視点から学べるのも道南地区ならではの魅力だと思います。



Q. 北前船からは どんなことが学べる？

北前船は、寄港地で安く商品を仕入れ、その後の寄港地で高く売るといったその土地ごとの価格差を利用した商船。歴史的な学びに加え、商業の基礎をわかりやすく教えてくれます。また、商業が盛んになると文化も生まれました。今では当たり前の昆布だしです

が、これは北前船が函館名産の昆布を仕入れ、京都で売っていたことで根付いたもの。北前船によって江差のニシンの加工品が京都や東北に運ばれたことで各地のニシン料理が育まれました。北前船は、そうした商業がもたらす文化も学ばせてくれます。

Q. 北海道と東北の つながりは？

江差のニシン漁には東北地方から多くの労働者が来ていました。さらに江戸時代の江差町は木材の伐採も盛んで、東北地方から多くの木こりが来ていました。江差町には、「鹿子舞(ししまい)」という郷土芸能がありますが、これはその木こりたちが伝えたものだといわれ、東北地方の「獅子踊」や「獅子舞」と非常に似ています。実は北海道と東北はとても密接で、道南地方では特にそうした自分たちの文化の広がりを感じる体験が多くあります。

Q. 宮原さんが おすすめの施設は？

江差町への教育旅行では、追分館をおすすめします。江戸時代から今日まで唄い継がれている江差追分は、地元の人たちが暮らしたの楽しみとして、自然に受け継がれてきたものです。もともとは本州から渡ってきたもので、ここでの体験を通して皆さんの地域にもある民謡をぜひ振り返ってもらい、つな

がりを感じてもらえたらと思います。また、追分館では毎年8月に行っている「姥神大神宮渡御祭」というお祭りについても学べます。このようなお祭りはかつて函館や松前でも行われていましたが、盛大に行われているのは江差町だけです。江戸時代から続く祭りや郷土芸能などの多くが廃れてしまう中、江差町でなぜ続けられているのか。その理由を、ぜひ教育旅行で感じてください。



Q. 教育旅行を通して 学んでほしいことは？

今は当時のものを写真や映像で見ることができませんが、それは目から入ってくる情報に過ぎません。道南地区には当時の建物が今も同じ場所にそのままの姿で多く残っており、そうした本物の空間には写真や映像では伝わらない質感や空気があります。ぜひそこに身を置きながら、ここでどんな人たちが、どんなことをしていたのかを想像してほしいです。思いを馳せたり、息吹を感じたり、建物は特にそうした往時の歴史を鮮明に伝え、想像力をかきたてる力があり、学習の理解度を深めてくれると信じています。



Experience Facilities / 江戸から幕末を体験できる施設



江差追分の貴重な資料や江戸時代から続く姥神大神宮渡御祭の山車を展示。4月末から10月末までは毎日3回、江差追分の実演を鑑賞できます。

住所／檜山郡江差町字中歌町193-3 お問い合わせ先／0139-52-0920
営業時間／9:00～17:00 定休日／11月～3月末は月曜・祝日の翌日(月曜が祝日の場合は翌日と翌々日)、年末年始 料金／小中高生250円(15人以上は1割引)
<http://esashi-oiwake.com/esashioiwake-kaikan>

江差追分会館・江差山車会館

約60分

開陽丸記念館

箱館戦争で活躍し、江差沖で沈没した旧幕府軍艦を復元。海底から引き上げた貴重な遺物を展示し、大砲の発射音や帆船の操作体験なども行えます。

住所／檜山郡江差町字姥神町1-10 お問い合わせ先／0139-52-5522
営業時間／9:00～17:00 定休日／11月～3月末は月曜・祝日の翌日(月曜が祝日の場合は翌日と翌々日)、年末年始 料金／小中高生250円※15人以上は1割引
<http://www.kaiyou-maru.com/>

江差町

江差町は、いにしえ街道にある国指定の重要文化財・旧中村家住宅や、北海道指定の無形民俗文化財であり、半世紀以上にわたって全国大会を開催している民謡の江差追分など、数多くの文化遺産とふれられる町です。江戸から幕末の歴史を体験できる重要な施設があるのはもちろん、その歴史文化を今でも自分たちの生活リズムとしている江差の人々とふれあえるのも、この町ならではの魅力の一つです。



いにしえ街道

隆盛を極めた頃の建造物が建ち並ぶ街道。江戸時代からの商家や蔵がそのまま残され、往時の記憶を今に伝えてくれます。

住所／檜山郡江差町字中歌町・姥神町一帯
お問い合わせ先／0139-52-6716
(江差町追分観光課観光係) 料金／無料



次の目的地へ

五稜郭公園

日本初のフランス築城方式の星型要塞・五稜郭の跡地で、箱館戦争の舞台として知られる国の特別史跡。春は桜の名所、冬は堀がライトアップされ、美しい風景を楽しむことができます。

箱館奉行所

幕末の箱館開港に伴い設置された江戸幕府の役所。1871(明治4)年に解体されてから約140年を経て、かつての場所に復元されました。館内では五稜郭の歴史等を知ることができます。

住所／函館市五稜郭町44-3
お問い合わせ先／0138-51-2864
営業時間／9:00～18:00
(4月～10月、11月～3月は～17:00、1月1日～3日は～15:00)
※最終入館は閉館時刻の15分前
定休日／12月31日、臨時休館あり
料金／学生250(団体200)円
※修学旅行生は少人数でも団体料金を適用
<http://www.hakodate-bugyosho.jp>

五稜郭タワー

特別史跡五稜郭の大地に輝く星形を眺めることができる、全高98mの展望タワー。五稜郭の歴史が学べる展示スペース、強化ガラスで床下が見える「シースルーフロア」も人気です。

住所／函館市五稜郭町43-9
お問い合わせ先／0138-51-4785
営業時間／8:00～19:00
(4月21日～10月20日、10月21日～4月20日は9:00～18:00、五稜星の夢期間中は9:00～、1月1日は6:00～)
定休日／無休 料金／小学生450(団体410)円、中・高校生680(団体610)円
※修学旅行生は少人数でも団体料金を適用
<http://www.goryokaku-tower.co.jp>



2010年に、4年の工期をかけ、資料に忠実に伝統的建築技術で復元された箱館奉行所。歴史はもちろん、建築様式もみどころの一つです。



春には約1,600本の桜が花を咲かせる「五稜郭公園」。堀の外周は一周1,800mの遊歩道になっています。



五稜郭タワーでは、展望料金プラス200円で、スタッフが五稜郭や箱館戦争について案内する歴史ガイドツアーに参加できます。

松前城・松前城資料館

1854(安政元)年最後の日本式城郭として建築。1941(昭和16)年、国宝に指定されましたが、1949(昭和24)年に焼失。その後、再建され天守閣内は藩政時代の資料館となっています。



住所／松前郡松前町字松城144
お問い合わせ先／0139-42-2216
(松前城資料館)
営業時間／9:00～17:00、4月10日～12月10日のみ開館
定休日／期間中は無休
料金／小・中学生240(団体190)円、高校生360(団体290)円※団体は10名以上

松前藩屋敷

武家屋敷、廻船問屋、商家など14の建物で構成される最北の城下町を再現した施設。鎧や着物をして屋敷内を歩ける「甲冑(かっちゅう)・着物着付け体験」がおすすめです。

住所／松前郡松前町字西館68
お問い合わせ先／0139-43-2439
営業時間／9:00～17:00
定休日／冬季休館(11月1日～4月9日)
料金／小・中学生240(団体190)円、高校生360(団体290)円※団体は10名以上



史跡上之国館跡 勝山館跡

15世紀後半に築かれた山城「勝山館」の跡地。各ポイントには説明板があり、勝山館の構造や交易の要所だった当時を知ることができます。併設するガイダンス施設で歴史を学んでからの散策がおすすめです。



勝山館跡ガイダンス施設
住所／檜山郡上ノ国町字勝山427
お問い合わせ先／0139-55-2400
営業時間／10:00～16:00、4月第4土曜～11月第2日曜のみ開館
定休日／月曜(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日
料金／小中高生100(団体80)円
※団体は20名以上

That's why Hokkaido

学習のねらいと その効果

- ◎北海道独自の自然環境や生態系を知り、自分が住む地域の環境理解を深める。
- ◎地球の鼓動を感じる大地の公園「ジオパーク」で日本列島の成り立ちを考える。
- ◎北海道の自然や生態系を理解し、人々の暮らし、文化との関わりまでを総合的に学ぶ。

自然を学ぶ



大地が学びのフィールド ユネスコ世界ジオパークで 地球の物語を知る

左上／洞爺湖ビジターセンター 右上／洞爺湖でのカヌー体験 下／有珠山

ダイナミックな大自然と 四季折々の景観が魅力

日本最北に位置し83,454km²の総面積を誇る北海道は、手つかずの大自然に抱かれた悠久の大地。津軽海峡を境に、本州とは異なる独自の自然環境や生態系が形成されているのが大きな特徴です。日本では北海道のみで生息するエゾヒグマ、エゾシカ、キタキツネなど北方圏の動物をはじめ、ヒダカソウ（アポイ岳）、リシリアザミ（利尻島）など北海道固有種の希少な植物が多くあります。四季が明確で、季節ごとの多彩な表情も、北海道ならではの魅力といえるでしょう。

また、2005年に世界自然遺産に登録さ

れた知床半島をはじめ、2つの湖を有する支笏洞爺国立公園、国定公園に指定されている大沼、ニセコ横丹小樽海岸など雄大な自然景観も北海道の醍醐味です。

大地の物語を ジオパークで体感する

では、北海道の特徴的な自然環境は、どのように形づくられてきたのでしょうか——。それを学べるフィールドとして注目されているのが「ジオパーク」です。

「ジオパーク」とは、ジオ（＝地球、大地）のエネルギーに変動の歴史を、学術価値の高い自然遺産を通じて知ることができる「大地の公園」のこと。大地（ジオ）の上に広

がる、動植物や生態系（エコ）の中で、人間（ヒト）が生活し、文化や産業を築き、歴史を重ねている——。ガイドウォークなどを通して特徴的な地形や地質を知り、この「ジオ」「エコ」「ヒト」のつながりを楽しみながら学べることがジオパークのメリットです。

北海道には、5つの日本ジオパーク「洞爺湖有珠山」「アポイ岳」「白滝」「三笠」とかち鹿追」があり、中でも繰り返される火山活動によって変動する大地の迫力を体感できる「洞爺湖有珠山」と、地球深部のマントルが地上に突き上げられて誕生した「アポイ岳」は、ユネスコ世界ジオパークにも認定されています。地域ごとに資源を生かした、特色ある教育プログラムの実施やガイド活動も盛んに行われています。

事前に 学ぼう！

本州と北海道の自然環境の相違点と、目的地とするジオパークの特性を調べ、見るべきテーマを決めましょう。

見るべきテーマを考えよう！

体験後に 考えよう！

大地のなりたちと人の営みが、自分たちが暮らす地域ではどのように結びついているのかを考察しましょう。

自分たちの地域の自然を考えよう！

Specialist Interview



洞爺湖町役場
ジオパーク推進課
主任
中谷 麻美さん

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会事務局員。情報発信や教育プログラムの企画、野外学習テキストの制作も手掛ける。

動があるからこそ育まれた“人々の営み”を学べます。ロープウェイで行く有珠山頂エリアや、1944～45年に麦畑から誕生した昭和山も、生きている火山を間近で見られるポイントです。

Q. 洞爺湖有珠山で 見るべきポイントは？

多彩なフットパスコースや散策路がありますが、なかでもぜひ訪れてほしいのは、有珠山の「西山山麓火口散策路」。自然の脅威を伝えるため、2000年の有珠山噴火の災害の様子をそのまま残し、公開しています。散策路を進むと、地盤隆起や地割れで歪ん

Q. ジオパークとは どんなところ？

普段、私たちは、山や丘、海岸などの自然景観を何気なく見っていますが、これら大地の造形は、実は何万年、何億年という長い歳月をかけてつくられたものです。豊かな森や動植物、そして私たちの暮らしも、その中で育まれてきました。そこには、ただ素通りするだけでは見えない、かけがえのない“大地の物語”が隠されているのです。生きている地球（ジオ）と、生命のつながりを、楽しく学べる場所、それが「ジオパーク」です。

Q. 洞爺湖有珠山 ジオパークの魅力とは？

洞爺湖は約11万年前に起きた巨大な噴火で生まれたカルデラ湖で、有珠山もまた、1～2万年前に噴火を繰り返して誕生した活火山です。この有珠山は、20世紀だけでも4回の噴火を起こし、その度に姿を変えてきました。「洞爺湖有珠山ジオパーク」は、そんな“変動する大地”を体感できる、世界的にも稀有な場所なのです。そこで育まれた縄文文化の遺跡群、温泉、食文化、そして活火山と共生していくための知恵など、火山活

Q. ジオパークを通じて 学んでほしいことは？

今まで何気なく眺めていた風景も、変動の歴史を辿ってきたことを知ると、驚きと発見に満ちたものになります。そんな気づきから、思考を広げ、地球や大地の成り立ちと自分たちの暮らしが密接に結びついていることを知ってもらえたらと思います。

Q. その学びを どう生かしてほしい？

日本は世界でもトップクラスの火山大国。また周囲を海で囲まれた島国でもあり、噴火災害の他にも土砂災害や津波など、さまざまな自然災害の可能性があります。ジオパークで、大地の成り立ちと暮らしのつながりに気づく視点を持ってもらえれば、自分が暮らしている地域の特長ある産業や歴史文化にも理由があることがわかりますし、起こり得る災害やその対処方法を考えるきっかけにもなると思います。



でしまった製菓工場や倒壊した民家、折れた電柱などが次々と現れ、噴火のすさまじさを体感できます。当ジオパークでは、地域住民の希望者が洞爺湖有珠山の特性や自然を学び、噴火の記憶や減災（防災）の知恵を伝承する「火山マイスター」という認定制度があります。ガイドや講演などで聞ける、実際に火山と共生してきたマイスターたちの“生の声”は、きっと胸に響くはずで



自然を体験できる施設

洞爺湖ビジターセンター・火山科学館

ジオパークの拠点施設。洞爺湖の成り立ちや有珠山の特徴、湖周辺の豊かな動植物などを多彩な展示で紹介しています。有珠山の火山活動を、迫力ある映像や音響で疑似体験できる火山科学館を併設。学習テーマに沿った火口ガイドウォークも実施しています。

住所／虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉142-5
お問合わせ先／0142-75-2555
営業時間／9:00～17:00 定休日／年末年始
料金／洞爺湖ビジターセンターは無料、火山科学館は高校生600円、小・中学生300円
※教育旅行生は少人数でも団体料金(1割引)を適用
<http://www.toyako-vc.jp/>
<http://www.toyako-vc.jp/volcano/>



洞爺湖の特性や自然、火山科学館では、人の暮らしと火山との関わりなどを学べます。見学後に記入するオリジナルのワークシートは、無料でダウンロードできます。ガイドのネイチャートーク(約20分/3000円)も実施。

館内見学

約60分

有珠山ロープウェイ

片道6分で山頂駅へ。火口原展望台からは、1977年の噴火口・銀沼火口や太平洋につながる内浦湾が一望できます。

料金／中学生以上1,500円(教育旅行は高校生1,050円、中学生900円、小学生530円)
※2018年4月以降変更予定あり
<http://usuzan.hokkaido.jp/ja/>

西山山麓火口散策

約90分

有珠山に整備された1.8kmの散策路を歩き、リアルな火山の脅威も実感できます。認定ガイドによるガイドウォークも実施しています。

有珠山ガイドの会

お問合わせ先／090-9510-1843

料金／5,000円

<http://noah3.starfree.jp>

洞爺湖有珠火山マイスターネットワーク

お問合わせ先／ホームページにて受付。

料金／7,500円～

<http://volcano-meister.jp>

体験

大沼国定公園のネイチャー体験

駒ヶ岳の裾野、大沼国定公園の大自然を体感できます。

レンタサイクル

大小の島々が浮かぶ大沼の湖畔を自転車でぐりぐりと一周できます。モーターボートや馬との触れ合いなども体験できます。

フレンドリー・ベア

住所／亀田郡七飯町大沼町215

お問合わせ先／0138-67-2194 営業時間／9:00～17:00

実施期間／4月上旬～11月下旬

料金／1日乗り放題1000(団体30名以上500)円

※教育旅行は少人数でも団体料金を適用

定休日／不定休 <http://friendly-bear1985.com/>

カナディアンカヌー体験

カナディアンカヌーに乗って、湖上へ。北海道知事認定「北海道アウトドアガイド」の資格を持つオーナーガイドをはじめ、経験豊富なガイドがレクチャー、同行します。要予約。

カヌーイスト大沼

住所／亀田郡七飯町大沼町816-20

お問合わせ先／090-6218-6013 営業時間／8:30～17:00

実施期間／5～10月 料金／2300円 定休日／不定休、11～4月

<https://www.facebook.com/canoeeastoonuma/>

体験



体験



雄大な駒ヶ岳を望みながら、ゆったりと湖上をクルージング。同乗のメンバーと呼吸を合わせて漕ぎ進むことで一体感が生まれます。

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

国指定の鳥獣保護区であるウトナイ湖の湖畔にある保護センター。館内ではウトナイ湖の動植物や自然について学習できるほか、「日本野鳥の会」のレンジャーによる解説、ビデオの上映や野鳥紙芝居なども実施しています。センター周辺の野外ガイドも受け付けています。



住所／苫小牧市字植苗156-26

お問合わせ先／0144-58-2231

営業時間／9:00～17:00

定休日／月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始

料金／無料

ネイチャーツアー(ニセコアウトドアセンター)

自然豊かなニセコを舞台に多彩な体験学習プログラムを展開。春から秋はカヌーツーリングや川釣りなど、冬は歩くスキーなどが体験できます。

住所／虻田郡ニセコ町曽我138

お問合わせ先／0136-44-1133

営業時間／9:00～17:00

定休日／無休(11月のみ全休)

料金／教育旅行はカヌーツーリング(約90分)

5,400円、歩くスキー(約2時間)4,860円

<http://www.noc-hokkaido.jp>



サケのふるさと千歳水族館

サケ・マスの近代的ふ化放流事業の発祥として知られる千歳川のほとりに建つ水族館。千歳川の水中をのぞける水中観察ゾーンでは秋にサケの遡上シーンを間近に見られます。バックヤードツアーなど体験プログラムが充実しており、3～6月にはサケの稚魚の放流体験(無料)もできます。



住所／千歳市花園2丁目312

お問合わせ先／0123-42-3001

営業時間／9:00～17:00

定休日／メンテナンス休館あり

年末年始

料金／入館料：小・中学生300(団体200)円、

高校生500(団体400)円、バックヤードツアー

(約30分)参加費1名100円※団体は10名以上

<http://chitose-aq.jp>

That's why Hokkaido

食を学ぶ

学習のねらいと その効果

- ◎日本最大の食料供給地域である北海道の生産現場を肌で感じ、食の大切さや命の尊さを学ぶ。
- ◎農業・酪農・漁業の生産者とふれあい、働くことの喜びや尊さを体感する。
- ◎日本の第一次産業が抱える問題点を実感し、これからの日本の食を考えるきっかけにつなげる。

日本の食を支える 第一次産業の最前線で 食の大切さを学ぶ



生産者の日常の仕事に携わる農業体験(マルベリー)

食材の宝庫・北海道は 日本が誇る食料供給地域

国内全体の4分の1を占める農地を有し、太平洋、日本海、オホーツク海の3つの海に囲まれた北海道は、肥沃な土壌と豊かな漁場に恵まれた“食材の宝庫”です。食料自給率はカロリーベースで221%。古くから広大な大地を生かした大規模農業が展開され、夏でも冷涼な気候で、昼夜の寒暖差が大きいこと、豊富な雪解け水に恵まれていることなどから、さまざまな高品質の“北海道ブランド”が生み出されています。

生産量、漁獲量でも圧倒的なシェアを占め、農産物の代表格であるタマネギや小麦

をはじめ、生乳、ウニ、コンブなど農業・酪農・漁業の各分野で日本一を誇る食材は、枚挙にいとまがありません。北海道は、我が国にとって最も重要な食料供給地域といえます。

生産現場を見つめ 食への意識を高める

北海道では、農村や漁村などにおいて自然、文化、人々とのふれあいを楽しむ「グリーンツーリズム」「マリンツーリズム」にいち早く取り組んでおり、生産者との連携、ネットワークのもと、食の生産現場で幅広い体験ができます。農場での作付け体験やシーズンごとの収穫体験、搾乳や餌やりなどの酪農体験、

漁の仕組みを学ぶ乗船体験や地引き網体験、漁港での水揚げやセリの見学、水産物の加工体験など、多彩な体験メニューがそろい、数時間のプログラムから、泊りがけのファームステイまで、そのスタイルもさまざまです。流通が発達し、社会が豊かで便利になる一方、食の安全性が問われる現代。北海道の大自然の中で、第一次産業の最前線を見つめ、体感し、生産者の思いや苦勞を知ることは、食への意識を高める絶好の機会になるはずです。

普段、何気なく口にしている食卓の野菜や魚は、どんな環境で育ち、誰の手によって、どのように私たちの元へ届くのか——。身近だからこそ見落としがちな営みを、食材の宝庫・北海道で、改めて見つめ直してみましょう。

事前に
学ぼう！

北海道の気候特性などを調べておこう！

北海道で第一次産業が発展した背景や気候特性などを調べ、なぜ根付いたのかを事前にリサーチしておきましょう。

体験後に
考えよう！

未来の食について考えよう！

食の大切さ、安全性、流通などに改めて目を向け、未来の食料問題や食のあり方について考察しましょう。

Specialist Interview

有限会社マルベリー
代表取締役
松橋 秀人さん

ニセコ周辺地域の特色を生かした個性豊かな産業体験プログラムを展開。年間約3万人以上の体験者を受け入れている。

Q. マルベリーとは どんな役割？

第一次産業が盛んなニセコ・羊蹄エリアを拠点に、農業、酪農、漁業130戸以上の生産者たちと連携し、さまざまなプログラムから受け入れ側のマッチングを考慮し、テーマに沿った最適な体験をサポートしています。いわば“橋渡し”的な存在ですね。その土地の風土と日々真摯に向き合っている生産者の皆さんは、自然と共に明るくたくましく暮らしています。そんな生産者のいきいきとした仕事現場と都市を、消費ではなく「ふれあい」や「心の交流」で結ぶことが、私たちの目指すところです。

Q. 体験エリアの 魅力とは？

羊蹄山のふもとに広がるニセコ・羊蹄エリアは、春はアスパラガス、夏はトウモロコシ、秋はジャガイモやユリ根などが収穫期を迎える農業地帯です。さらに、少し足を延ばせば、果樹園が広がるフルーツの産地や酪農の町、日本海側には漁港もあり、生産現場の学びにふさわしい環境です。



Q. プログラムの特色は？

基本的には、民泊受け入れ可能な生産者と連携し、3～10名でファームステイをする「営み生活体験」、農業、酪農、漁業それぞれの現場で生産者の日常の仕事のお手伝いをする「地域産業ふれあい体験」、作業やふれあいから、より掘り下げて食の学習をする「地域産業ふれあい学習体験」と、3つのプログラムを実施しています。特定のテーマに焦点を絞りたいなど要望があれば、ガイドスタッフが生産者と共にプログラムを組み立てることも可能です。



Q. 生産現場で 学んでほしいことは？

マルベリーのプログラムは、パッケージになった一般的な体験メニューとは少し異なり、さらに一歩踏み込み、リアルな生産現場や暮らしを体感してもらうことを重視しています。生産者の皆さんとの一期一会の出合いを通して、大地と人、そして、人と人のつながりのすばらしさ、大切さを感じてもらえたら嬉しいです。大自然と向き合い、共に働く

ことが生き方そのものになっている人の強さや純粋さは、都会に暮らす子どもたちにとって、ほかではなかなか学ぶことができない、多くの気付きをもたらしてくれることでしょう。



Q. その学びを どう生かしてほしい？

生産者と寝食を共にし、生活を共有する「営み生活体験」では、たとえ短期間でも、互いに心が通い合い、別れのシーンでは、涙を流す子どもが大勢います。日常生活に戻ってもそんな心の交流を糧に、人の真心や温かさを大切に過ごしてほしいと願います。例えば、今まではスーパーマーケットに並ぶジャガイモを見かけても、単なる商品の一つとしてとらえていた子どもが、ニセコの広大な畑の風景や汗を流す生産者の顔を思い浮かべられるようになる——。ここでの体験が、食の意識を高めるきっかけになってくれたら幸いです。



Experience Facilities 食を体験できる施設



営み生活体験

生産者の元で民泊し、寝食を共にしながら、自然の中で日常作業の手伝いを体験します。

体験人数／各軒3～10名、最大400名
受け入れ期間／5月中旬～11月
料金／15時間体験コース10,584円、
昼食代は別途918円

地域産業ふれあい体験

食の生産現場で日常作業をリアルに体験し、生産者の思いや取り組みを学びます。

体験人数／農業：各農家20名前後、最大400名、
酪農：各農家20～40名前後、最大250名、
漁業：最大200名
受け入れ期間／5月中旬～11月
料金／半日コース(約2時間)4,320円、
昼食代は別途918円～

地域産業ふれあい学習体験

自然環境と食との関わりや生産技能、流通、販売、経営など、より深い学習要領を含んだプログラム。

体験人数／農業：各農家40名前後、最大400名、
酪農：各農家40名前後、最大250名、
漁業：最大200名
受け入れ期間／5月中旬～10月
料金／1プランコース(約90分)3,780円、
昼食代は別途918円～

羊蹄・道南エリア 他

農業・酪農・漁業体験

第一次産業が盛んな羊蹄・道南エリアを拠点に、農業、酪農、漁業130戸以上の生産者たちと連携し、生産現場でのさまざまなふれあい体験プログラムを実施しています。コースは1時間半～2泊3日までそろい、学びたいテーマに沿って体験プログラムのカスタマイズも可能。

有限会社マルベリー

住所／磯谷郡蘭越町湯里224-19
お問合わせ先／0136-58-3388
営業時間／9:00～17:00 定休日／年末年始
<http://mulberry-niseko.com/>

1日コース例

One day

start /

酪農 農業

地域産業ふれあい体験

体験人数／酪農：各農家40名前後、最大250名、農業：各農家20名前後、最大400名
料金／6,372円、昼食代は別途918円～※長靴、軍手、サロペット(酪農のみ)のレンタル料含む

酪農体験

約60分

受け入れ牧場に到着したら開校式を行い、酪農体験(エサやり、牧草学習、搾乳など)スタート。体験後は、感想発表を行います。

体験



ジンギスカンの

約90分

昼食



昼食後は農家へ移動。畑や田んぼで生産者と一緒に定植・管理・収穫作業などを体験します。体験内容は、時期によって異なります。

農業体験

約60分



体験

宿泊先へ

酪農体験など

むらかみ牧場 住所／恵庭市戸磯156

お問合わせ先／0123-32-5093 営業時間／10:00～17:00 定休日／11月中旬～4月上旬
料金／入場無料、酪農体験(約60分)中学生以上2,000円 <http://murakami-farm.com/>

酪農教育ファーム認証の体験型牧場。乳搾り、エサやり、バター作りを一連で楽しめる酪農体験から、新鮮なミルクを使ったアイスクリーム作り体験、仔牛の哺乳体験などができます。恵庭グリーンツーリズムネットワークと連携し、ファームステイの受け入れも可能です。



新千歳空港から車で約30分。乳牛約130頭を飼養しています。



酪農体験は、最大100名まで受け入れ可能。



専任スタッフのレクチャーを受け、乳搾りにチャレンジ。いつも飲んでいる牛乳を自分の手で搾る貴重な体験です。

木古内まちづくり体験 観光振興協会

木古内町の観光協会、商工会、生産者が官民共働のもと、地引網体験や、ホタテ貝養殖・放流体験・漁船乗船体験を6～9月に行っているなどさまざまな漁業体験プログラムを実施しています。受け入れ人数などは各プログラムで異なるので確認を。



住所／上磯郡木古内町527
お問合わせ先／01392-6-7357
営業時間／9:00～17:00 定休日／土・日曜、祝日
料金／地引網体験(約90分)2,400円、ホタテ貝養殖・放流体験・漁船乗船体験(約2時間)2,000円
<http://kikonai-kankou.net/taikenkankou000.html>

厚真町グリーンツーリズム 推進協議会

厚真町の基幹産業である農業を中心に、地元の資源を生かした体験学習プログラムを実施。しいたけづくり体験(5・10月)、ハスカップの収穫体験など農業体験をはじめ、農作物を使ったジャムや豆腐、トマトジュース作りなど加工体験もできます。

住所／厚真町本郷305-2
お問合わせ先／0145-29-7711(厚真町観光協会)
営業時間／8:30～17:15 定休日／土・日曜、祝日
料金／しいたけづくり体験(約90分)1,000円～、
ハスカップ収穫体験(1kg)1,000円～
<http://atsuma-kankouyukai.jp/green.html>



乳製品の 手づくり体験など

新千歳空港から車で約40分に位置する体験型牧場。搾りたての新鮮な牛乳を使ったフレッシュチーズやバター、ソーセージなどの手づくり体験が楽しめるほか、乳搾り、酪農・農作業体験なども実施しています。



北海道箱根牧場
住所／千歳市東丘1201
お問合わせ先／0123-21-3066
営業時間／10:00～17:00
定休日／11～3月の火曜、年末年始
料金／入場無料、教育旅行(10名以上)は手づくり体験(約60分)950円～、乳しぼり体験(約30分)660円
<http://www.hakonebokujo.com/>





北海道 王道グルメ

Tasty Hokkaido

日本の食料供給地域ともいわれる北海道は、その豊富な食材を生かしたご当地グルメの宝庫です。教育旅行で北海道に来た際にはぜひ食べてほしい北海道を代表する王道のご当地グルメをご紹介します。



ラーメン Ramen

北海道のラーメンといえば、札幌の味噌が有名ですが、実は旭川では醤油、函館では塩がスタンダード。それらは“北海道三大ラーメン”といわれ、ほかにも室蘭カレーラーメンなど北海道には地域色豊かなご当地ラーメンが数多くあります。



スープカレー Soup Curry

Soup Curry



ジンギスカン

Genghis Khan

石狩鍋やちゃんちゃん焼きと並び、農林水産省「農山漁村の郷土料理百選」に選ばれている北海道の郷土料理。中央が凸型の専用鍋で羊肉と野菜を焼く料理で、北海道では主に「肉を焼いた後にタレをつける」「タレに漬け込んだ肉を焼く」という2つのスタイルで親しまれています。

札幌発祥のご当地グルメで、各店独自に調合したスパイスやスープにチキンレッグや野菜などの具材がまるごと入っているのが特徴。北海道の野菜をおいしく食べられる料理の一つで、各店毎に個性が異なる味わいを楽しめるのも魅力です。



スイーツ

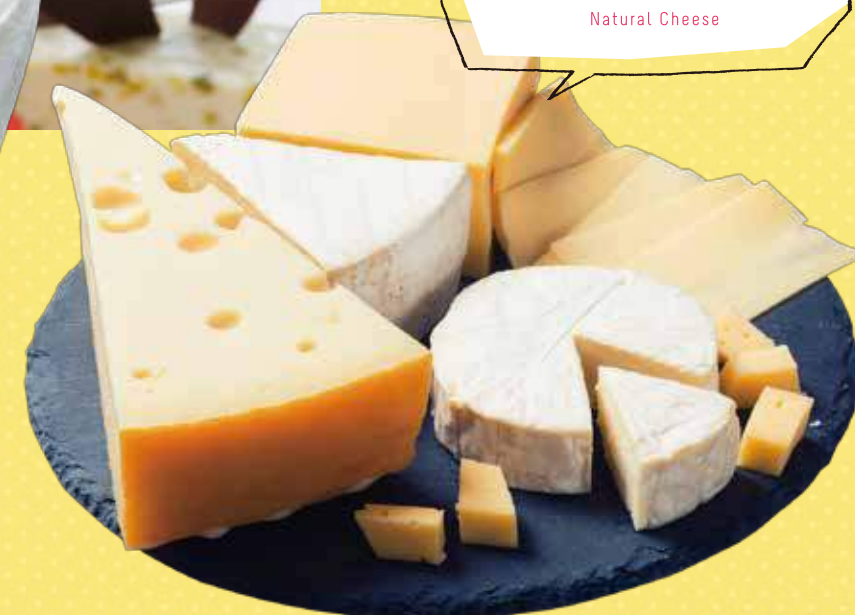
Sweets

酪農が盛んな北海道は、コクのある牛乳などで作ったスイーツも魅力的です。道内には全国的な知名度を持つ菓子店がひしめき、なかにはその場で食べられるカフェを併設する店舗も。価格が手頃なものも多く、お土産としてもおすすめです。

酪農王国・北海道には、おいしい乳製品がいっぱい！なかでも北海道の新鮮な生乳を使って作られたチーズはお土産としても人気です。全道各地で作られている特徴のあるチーズをぜひ味わってみてください。

ナチュラルチーズ

Natural Cheese



海鮮

Seafood



北海道は周囲を取り囲む日本海・太平洋・オホーツク海の3つの海の幸がそろった日本有数の海鮮王国。北海道を代表する鮭やカニ、イクラなどの魚介は、函館朝市などで提供されている海鮮丼で食べると一度に多くのものを味わうことができます。

Learn the new Hokkaido

新たな北海道を知り、 子どもたちの未来を育もう！

先行きの見えない時代の中で、これからの未来に不安を抱くのではなく、ワクワクとした期待感をもつこと。それもこれからの時代を『生きる力』の一つではないでしょうか。北海道の教育旅行の場としての魅力は、ここまで紹介してきた王道的な体験プランだけに限りません。例えば、外国人の観光消費は海外にサービスを輸出する日本の内需産業として、これからさらに重要度がましてくるといわれています。北海道には既に約230万人（2016年度）のインバウンドの観光市場があり、日本のゴールデンルートといわれる東京、京都、大阪に並ぶほど、外国人観光客の人気の高い世界的な観光ブランドとなっています。その最前線を学ぶことは、必ずや子どもたちの将来への期待に広がりをもたらしてくれることでしょう。さらに平成30年に、命名されてから150年を迎える北海道は、『試される大地』とも呼ばれるほど、さまざまな逆境を乗り越え、成長を遂げてきました。そこに根付くチャレンジ精神はこれから生きるうえでの考え方やヒントを育んでくれるはずですし、日本初の冬季五輪が開催された北海道では、他の地域では体験できない学びがまだまだあります。

その先の、道へ。未来へと積極的に進む現在進行形の北海道もまた、子どもたちの未来を明るく照らし、『生きる力』を育む魅力に満ちています。



遊びに！投資に！ リゾートの世界ブランド NISEKO

モダンなデザインの高級コンドミニウムが立ち並び、
外国人観光客があふれるリゾート「ニセコ」。
1980年代は素朴な自然とペンションが主流だったエリアが、
世界的なリゾートへ発展した理由を学びます。



国内外の人々を魅了する 世界随一のパウダースノー

「今のニセコは、どんどん観光客の方に来て下さいという時期は過ぎて、観光地としてのクオリティを高める段階にきています」。今や外国人観光客宿泊数が年間約56万人(延泊含む)となったリゾート、ニセコ。住民として、観光を推進する側として、現状を冷静に見つめているのが倶知安観光協会の理事、二川原康平さんです。

二川原さんは、両親が「ペンション グランババ」を始めたのを機に倶知安町に移り住み、子どものころから培ったウィンタースポーツの腕前は、海外での大会経験も持つほど。かつてはラフティングのインストラクターをしていたこともあり、現在は「ニセコひらふ教育旅行協会」で、北海道内外の修

学旅行生の受け入れを行っています。「ニセコ」と呼ばれるエリアは、札幌市内から車で約2時間。倶知安町とニセコ町の2つの町からなり、「ニセコ積丹小樽海岸国定公園」に位置しています。ニセコといえば最も有名なのが「世界一のパウダースノー」。世界中のウィンタースポーツの愛好家を磁力のように引き寄せるのは、この特殊な地形や気候条件が生み出す奇跡のような雪質が大きな要因だと言われています。

観光から文化の創出へ 国際化を突き進むNISEKO

「ニセコの観光に外国人として大きな影響を与えたのは、オーストラリア人のロス・フィンドレー(NACニセコアドベンチャー代表)さんでした。アクティビティといえば冬の

スキーだけだったニセコに1995年ごろ、夏の尻別川でできる川下り、ラフティングを持ち込んで、夏も遊べる通年型リゾートへと印象を変えました。ロス氏はその後、国土交通省の「通年型アウトドア体験観光のカリスマ」にも選ばれています」。夏も冬もアウトドアができるニセコの魅力は、やがて口コミで広がり、2006年ごろから外国人観光客数が増加。やがてニセコに長期滞在する外国人に着目した不動産会社が、投資型のコンドミニウムを建設。外資系ホテルもオープンし、なかでもグラン・ヒラフスキー場近辺はみるみるうちに地価が上昇。現在は宿泊施設の約8割が外国人による経営で、コンドミニウムの価格は1棟1億円ともいわれています。

「ひらふ地区は昔から、新しいものや人に対して寛容な気質があるんです。だから外



国人とのコミュニケーションも風通しがいい。今は、オーストラリアの方々も多いですが、スキーを楽しむ文化を持つ北欧圏や近隣の東南アジアなど、世界中の方がニセコに集まるようになりました。そのため、例えば建築は、外国人から見た日本のイメージや彼らの自国の伝統様式、雪国としてのキーワードもあるデザインです。食は日本食も人気ですが、予約制でクオリティの高い各国のレストランもできています。彼らは、互いに刺激しあいながら、ニセコならではの

新しいカルチャーを生み出しています。またニセコでは、観光に付随して新たな雇用や外国人移住者も増加。新しい変化は、同時に多くの課題も生みますが、互いが心地良い環境づくりのために、話し合いも進められています。

新幹線開通に向けて 地元で高まる期待

ニセコは今も多くの外国人が「ジャパンレー

ルパス」を使って新幹線で函館まで来て、その後JRに乗り継いで来ているため、新幹線への期待は大きい。「新幹線が開通すると、倶知安と札幌間は約20分。アクセスの良さが強みとなり、市街地はシティとして大きく発展し、山ろくは、マウンテンリゾートとしてのクオリティが高まるでしょう」。

ニセコはこれからも世界が目にするリゾートとして変貌する大きな可能性を秘めています。

Pick up! Experience

体験ピックアップ

外国人とのコミュニケーションにより、 英語の実践能力を高める

ニセコはさまざまな国から来ている外国人が多いので、コミュニケーション力を養うには、絶好のリゾート。外国人講師によってネイティブの英語力を高めるなど、ニセコにしかないプログラムを体験できます。英語教育に熱心な学校では、生徒たちがグループに分かれて、それぞれ1つのテーマで事前に資料を準備し、外国人講師の前に英語でプレゼンテーションを行うところ。またバーベキューやボードゲームと一緒に体験するメニューも選べます。

ペンションを活用し、 ホテルではできない体験を

二川原さんも所属する、「ニセコひらふ教育旅行協会」は、関東、関西、北海道東部などから、春～秋にかけて修学旅行生の受け入れを実施。ホテルとは違った体験をしてほしいと、1つの学校の生徒たちを数か所のペンションに分宿してもらい、さまざまな体験メニューを提案しています。メニューは、人気のラフティングなどアウトドアのほか、インドア体験や、宿泊施設の裏側と題して、おもてなしする側を経験するなど、ユニークなメニューもそろっています。



ニセコひらふ教育旅行協会

お問合わせ先 TEL.0136-21-5557
住所 北海道虻田郡倶知安町山田163 ペンショングランババ
ウェブサイト <http://www.nihi.net/>



体験学習プログラム

1. アウトドア
極上のパウダースノーが、尻別川の水源地となるストーリーを肌で感じられるラフティングのほか、登山、サイクリング、バーベキューなど多彩なメニューから選べます。

2. インドア
ジャムやアイスクリーム作りをはじめ、羊毛フェルトやジェルキャンドル、リースなど、ニセコの食材や植物について学びながら手仕事を体験できます。

3. 英語実践プログラム
ネイティブな英語能力を高めるための実践プログラムが充実。対象人数は10名～100名。講師の費用は1名1時間に付き3,000円～(税別)、所要時間などは相談に応じています。

二川原さんによると、ニセコは「川も森も雪も植物も人も、すべてがアクティビティなることをリアルに感じられる場所」。個人的には、スキーと雪解け水でのラフティングの両方を楽しめる、3月上旬から下旬ごろがおすすめのシーズンだそう。

北海道の人気観光地で観光を学ぼう！

北海道はニセコだけじゃない！世界に誇る人気観光地がまだまだいっぱいあります。
さらに各都市では、実際に観光の裏側を体験して学べるプログラムもそろっています。

函館

HAKODATE

北海道新幹線開業で話題の観光地。歴史を語る五稜郭、函館山の夜景、ノスタルジックな街並みが魅力の元町など、見どころ満載です。

元町エリア

MOTOMACHI AREA

石畳の坂に、明治から昭和期に建てられた異国情緒あふれる洋館や教会が建つ、元町エリア。“昔”と“今”が織りなす、おしゃれな雰囲気が人気です。

函館山ロープウェイ

MT.HAKODATE ROPEWAY

トップスピード秒速7m、海拔334mの山頂まで約3分。函館湾と津軽海峡に挟まれた曲線が美しい、函館の街の夜景を一望できます。

住所／函館市元町19-7
お問合わせ先／0138-23-3105(総合案内)
営業時間／4月25日～10月15日
始発10:00、上り最終21:50、下り最終22:00
10月16日～4月24日
始発10:00、上り最終20:50、下り最終21:00
定休日／なし(整備休業あり)
修学旅行料金／往復：高校生670円、中学生560円、小学生370円
http://334.co.jp

体験学習 朝市体験学習

EXPERIENTIAL LEARNING

観光客でにぎわう観光スポットでお仕事体験!函館朝市のお店に実際に立ち、来店する観光客を接客し、包装作業、掃除など裏側の仕事も学べます。

住所／函館市若松町
お問合わせ先／0138-22-7981(函館朝市協同組合連合会事務局)
実施期間／4月～10月(水・土・日曜、祝日、ゴールデンウィーク、月末を除く)※月末が土・日曜の場合は前日を除く
料金／小学生1,000円、中・高生1,500円(要予約)
http://www.hakodate-asaichi.com/taiken/index.html

札幌

SAPPORO

北海道最大の人口約190万人が暮らす政令指定都市。季節ごとのイベントが多数開催され、海外の旅行者からも人気があります。

札幌もいわ山ロープウェイ

SAPPORO MT.MOIWA ROPEWAY

2015年に「日本新三大夜景」として認定された札幌の夜景。一望できる藻岩山山頂へは、山麓から中腹までロープウェイ、中腹からはミニケーブルカーで向かうことができます。

北海道庁旧本庁舎

AKA RENGU

「赤れんが庁舎」の愛称で親しまれる人気観光スポット。アメリカ風ネオ・バロック様式のレンガ造りが特徴で、館内は無料で見学可能。国の重要文化財にも指定されています。

体験学習

白い恋人工場見学・お菓子作り体験工房

白い恋人パーク

EXPERIENTIAL LEARNING

北海道土産で人気の銘菓「白い恋人」の工場見学が可能。さらにハート型に焼きあげた「白い恋人」にチョコで絵を描く「私の白い恋人(お絵かきコース)」などの体験も行えます。

住所／札幌市西区宮の沢2条2丁目11-36
お問合わせ先／011-666-1481(白い恋人パーク)
料金／入館料：中学生以下200円(団体150円)、高校生以上600円(団体500円)、
「私の白い恋人(お絵かきコース)」(要予約)：972円
※団体は20名以上
http://www.shiroikoibitopark.jp

登別

NOBORIBETSU

9種類もの温泉が湧き出す日本屈指の温泉郷・登別温泉で知られるまち。豊かな自然と多彩なテーマパークがあるのも人気の秘密です。



体験学習

レクチャー体験

登別マリナーパークニクス

EXPERIENTIAL LEARNING

住所／登別市登別東町1丁目22
お問合わせ先／0143-83-3800
料金／修学旅行は、
入場料：小学生756円、中学生1,242円、高校生1,566円、
引率教員(1クラスに付1名様)無料
※要予約
※レクチャー体験の料金はお問合わせください
https://www.nixe.co.jp

修学旅行団体向けにイルカやアシカ、アザラシの生態・飼育を学び、代表者(5名以内)がトレーナーとして体験できるプログラムを用意。給餌体験ができるレクチャーもあり。

小樽運河

OTARU CANAL

運搬の役目を終え、小樽を代表する観光名所となった小樽運河。運河沿いには63基のガス灯が設置され、石造倉庫群を眺めながら散歩することができます。

体験学習

とんぼ玉制作体験

大正硝子 とんぼ玉館ほか

EXPERIENTIAL LEARNING



登別地獄谷

NOBORIBETSU JIGOKU DANI

日和山の爆裂火口跡で、1日1万トンもの温泉を湧出する名湯・登別温泉の給湯元。展望台からは、煙を上げる噴気孔や湧出口を見ることができます。

小樽

OTARU

貿易港として、ニシン漁の拠点として繁栄した歴史を語る、石造りやレンガの倉庫が並ぶ“北の商都”。レトロな雰囲気が魅力です。

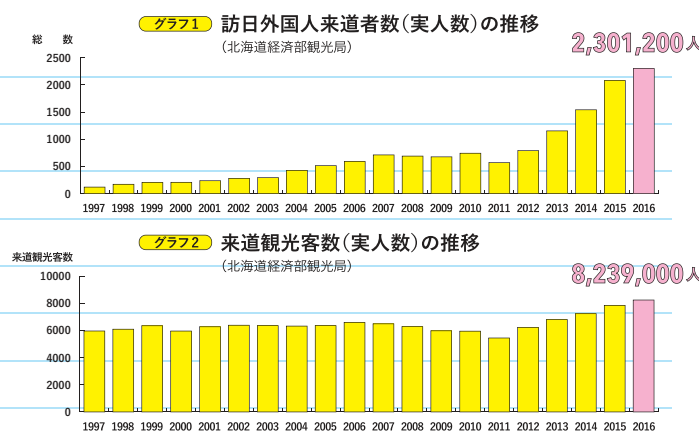
かつてはニシン漁に使う浮き玉などを生産し、全国的にもガラスの街として知られた小樽。市内には今も多く工房が点在し、土産品として人気のガラス製品を実際に制作体験することができます。

大正硝子 とんぼ玉館
住所／小樽市色内1丁目1-6
お問合わせ先／0134-32-5101
営業時間／9:00～19:00
定休日／なし
料金／マールコース1,000円(10分)、
花てまりコース1,200円(15分)、
ハート玉コース1,400円(15分)
http://www.otaru-glass.jp/

世界が憧れる観光地・北海道

北海道は、日本有数の観光地として人気が高く、ブランド総合研究所が実施している「地域ブランド調査」の2017年の市町村魅力度ランキングでは、函館(2位)、札幌(3位)、小樽(4位)、富良野(9位)の4都市がTOP10にランクイン。その満足度は高く評価されています。特に近年は外国人観光客の人数が高まっており、ニセコエリアにある倶知安町はトリップアドバイザーが2017年に実施した世界の人気観光地ランキングにおいて、東京・京都に次ぐ日本のランキング3位という結果が出ています。外国人による訪日観光(インバウンド観光)は東京・富士山・京都・大阪を結ぶ「ゴールデンルート」に集中する中、北海道は世界的な観光ブランドとして注目を集めており、訪日外国人の来道者数も年々増加。これからますます世界中の注目を集め、多くの外国人観光客が訪れる世界有数の観光地となることが期待されます。

※訪日外国人来道者数(実人数)は、平成9年度から発表。 ※調査対象市町村数：平成9年度及び10年度：202市町村、平成11～17年度：全212市町村、平成18年度～：全180市町村、平成22年度～：全179市町村 ※平成22年度から新算定方式により調査(平成22年度の前年度対比は、前年度分を新方式により算定し直して算出)
※平成9年度に調査方法を改正したため、8年度以前の数値とは連続しない(比較不可)。 ※平成22年度に調査方法を改正したため、21年度以前の数値とは連続しない(比較不可)。
※平成22年度の「前年度対比」は、旧方式により算出





北海道・ 赤平市から 宇宙へ！

民間のロケット開発が多角的に行われている北海道では、大樹航空宇宙実験場(大樹町)や株式会社植松電機(赤平市)など、宇宙飛行士やロケットへの憧れを体験できる子どもたちのための環境が充実しています。

知っていますか？ 実は宇宙と近い北海道

北海道には、民間のロケット打ち上げ実験で話題となる「大樹町多目的航空公園」など、宇宙が身近に感じられる町があります。1980年代から航空宇宙事業の産業化を目指して取り組みをはじめた大樹町には、「宇宙交流センターSORA」やJAXA(宇宙航空研究開発機構)と連携した「大樹航空宇宙実験場」などが誕生。宇宙ファンだけではなく、観光客も魅了する町へと進化しています。また、苫小牧市科学センター内ミール展示館では、1986年にロシア(旧ソ連)が打ち上げた宇宙ステーション「ミール(実物の予備機)」を展示。1992年、日本人で初め

てスペースシャトル、「エンデバー」に搭乗した毛利衛さんは余市町出身で、町には宇宙記念館を併設する道の駅「スペース・アップルよいち」があります。そして炭鉱の歴史を誇る赤平市には、「カムイ型ハイブリッドロケット」の開発を進める株式会社植松電機があります。

北海道大学と挑戦する 植松電機のロケット開発

植松電機は田園風景が広がる赤平市で宇宙の神秘に挑む、社員約20名の会社です。経営母体はリサイクル部品の回収に役立つ「エレクトロマグネット」と呼ばれる機器で、社長の植松努さんは、この機器での

収益を土台に、北海道大学大学院工学研究院の永田晴紀教授と連携し、「カムイ型ハイブリッドロケット」と呼ばれるロケットや、他の研究機関と人工衛星などの開発を行い、多くの実績を積み重ねています。

植松電機は、国内外から注目されていて、その理由は大きく2つあります。1つは、ロケットやエンジンの開発に必要な設備を所有していることです。「植松電機には、ほかにNASA(アメリカ航空宇宙局)とドイツ・プレーメンなど、世界に3か所しかない微小重力実験塔や高温の熱にも耐えられる国内では希少な燃焼実験設備があります。これらをほかの研究機関にも開放するので、最先端の情報が集まります。そして訪れる人たちといろんな話をするにより、互いの



株式会社植松電機
代表取締役社長
植松 努
うえまつ つとむ

1966年、北海道芦別市出身。幼少期から飛行機やロケットに憧れ、大学を卒業後に大手企業で航空機の設計を担当。退社後、実家のある赤平市に戻り、植松電機を引き継ぐ。2005年よりロケットの開発に着手し、2012年に大樹町航空宇宙実験場で動作実証実験に成功。ロケット開発の目的はビジネス利用ではなく、自分の可能性を信じてまっすぐに未来へ歩んでいって欲しいとの子どもたちへの思いから。毎年多くの修学旅行生を受け入れ、年間約8万人の子どもたちにメッセージを伝えている。

世界が注目する植松電機

技術を高めるという相乗効果も生まれるんです」。自分ができることは提供し、できないことは力を貸してもらえばいい。植松さんの考えは、多くの人たちとのつながりを育んでいます。

子どもたちが勇気を持つ 植松さんのメッセージ

2つめは、植松さんが、子どものころから抱いていた宇宙への夢を「どうせ無理」と

いう周囲の意見に負けずに実現した大人だということ。

植松さんは、子どもたちと接する時に、必ず最初に自身の言葉で次のようなメッセージを伝えます。「君たちは、宇宙やロケットについて、自分にはどうせ無理と思っているのか？ロケットは、偉い学者さんや、すぐく頭のいい人しかやっちゃいけないことだと思ひ込んでいないか？そうじゃないよ、僕が見本だ。僕は子どものころ飛行機が大好きだったけど、先生に頭も良くないし、お金も

かかるから、ロケットを作れる人なんかになれっこないって言われたんだ。でも、どうしても好きだったから、自分なりに本を読んだりしてロケットを好きでいたら、ちゃんとロケットを作れる人になれたんだ。」「どうせ無理というのはやったことのない人がいう言葉なんだから、君たちは、どうせ無理に負けない人になろうよ」。

植松さんのこの思いは世界へも広く伝えられ、国内だけでなく海外でも共感を呼び、多くの子どもたちに自分の可能性を信じる勇気を与えています。

Pick up! Experience

体験ピックアップ

子どもたちが笑顔になる、 ロケットの打ち上げ体験

ロケット体験教室では、実際に手作りしたロケットを打ち上げます。丈夫な紙などを使って組み立て、好きな色を塗り、風向きなどを考慮して電気点火式で発射します。ロケットがいきなり30～60mまで上昇すると、子どもたちの歓声が頂点に。パラシュートがとび出して地上へと戻ってくると、ロケットに向かって駆け出す子も。最初は興味がないと寝たふりをしていた子どもも、終わったころには植松さんと友達になりたいがそうです。

安全性、学びやすさを 重視した設備

ポリエチレンを素材にした固体燃料を使ったロケットや、人工衛星など航空宇宙関連の開発・研究を行う植松電機。本来ロケットの打ち上げは、爆発的な熱エネルギーの放出や騒音が伴う危険な作業ですが、植松さんは約13万km²の広い敷地を生かし、働く人たちの安全を重視した環境を整え、これらの実験を可能にしています。また、学習用には約360名まで収容できる施設や、6名で向き合って作業できるテーブルなどを完備。子どもたちは赤平市の豊かな自然に囲まれて、のびのびとロケットの組み立て作業を体験できます。

株式会社 植松電機

お問合わせ先 TEL.0125-34-4133
住所 北海道赤平市共和町230番地50(赤平第2工業団地)
ウェブサイト <http://uematsudenki.com/>



体験学習プログラム

1. 植松社長の講話

施設見学だけでなく、「思うは招く。夢があればなんでもできる」をテーマとした講話を実施。失敗を恐れずに挑戦することの大切さを伝えています。

2. カムイ型ハイブリッド ロケットエンジン燃焼実験

実際に飛ばしたロケットや燃料の展示、さらにカムイ型ハイブリッドロケットエンジンの仕組みを説明し、燃焼実験を見学します。

3. モデルロケット製作・ 打ち上げ体験

モデルロケットの製作から打ち上げまで、同社の研究開発を模擬体験。最後は一人一人が自分の作ったモデルロケットを自分の手で打ち上げます。



雪ミク(初音ミク)

SNOW MIKU

インターネットを通して世界へ。
北海道発のバーチャルアイドル

「初音ミク」は札幌のクリプトン・フューチャー・メディア株式会社が開発した音声合成・DTM用音源データ及びキャラクターで、大勢のクリエイターが彼女の声で音楽を自作し、ネット上に投稿したことで人気に。バーチャル・シンガーとして活躍の幅を広げ、北海道では「さっぽろ雪まつり」で初音ミクの雪像がつくられたのをきっかけに「雪ミク」が誕生。北海道を応援するキャラクターとして活躍しています。

関連施設

雪ミク スカイタウン

SNOW MIKU SKY TOWN



雪ミク(初音ミク)のショップ&ミュージアム。大迫力の360°C全周スクリーン映像で、雄大な北海道の自然を体感できるシアターは、一見の価値あり!

住所／千歳市美々 新千歳ターミナルビル4F
お問合わせ先／0123-45-0039
営業時間／9:00～19:00
定休日／なし
料金／シアター入場料:大人650円、高校生以下450円
※5名以上の利用で50円割引
<http://snowmiku.com/skytown/>

再生可能エネルギー

RENEWABLE ENERGY

次なる時代に向けた新たな
エネルギーの未来に挑戦中!

自然豊かで広大な北海道は太陽光、風力、地熱、バイオマスなど豊富な再生可能エネルギー資源を有しており、随所でメガソーラーや風力発電を目にすることができます。道内には、経済産業省・資源エネルギー庁が認定する「次世代エネルギーパーク(※)」が7か所あり、環境に配慮したさまざまな再生可能エネルギーについて学ぶことができます。

※日本のエネルギー問題への理解を深めるため、経済産業省・資源エネルギー庁が認定する再生可能な次世代エネルギー設備や体験施設を整備した地域拠点。



伊達ソーラー発電所

関連施設

伊達市次世代 エネルギーパーク

ENERGY PARK

伊達市観光物産館を拠点に、太陽光による「伊達ソーラー発電所」をはじめ、豊かな環境資源を活用した「伊達市木質ペレットプラント」など、次世代エネルギー関連施設が点在。環境学習の場としても生かされています。

お問合わせ先／0142-23-3331
内線542・545・548
(伊達市経済環境部環境衛生課環境衛生係)
<http://www.city.date.hokkaido.jp/hotnews/detail/00000761.html>



伊達市木質ペレットプラント

関連施設

ニッカウヰスキー余市蒸溜所

NIKKA WHISKY YOICHI DISTILLERY

ニッカウヰスキーの歴史を展示した博物館や、一部見学ができる竹鶴と妻・リタが暮らした私邸があり、ウイスキーの製造方法・工程を学ぶこともできます。

住所／余市郡余市町黒川町7-6
お問合わせ先／0135-23-3131
営業時間／9:00～17:00
定休日／年末年始

料金／無料
<http://www.nikka.com/guide/yoichi/about.html>

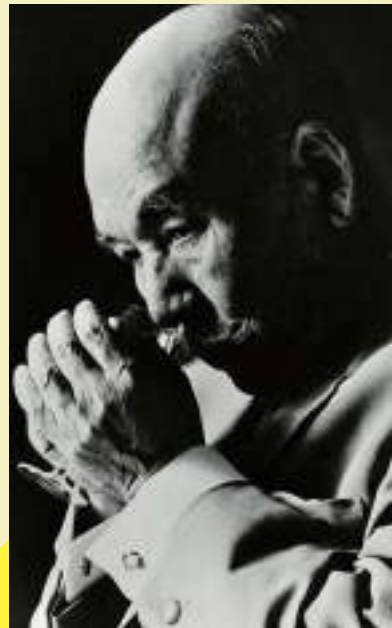


竹鶴政孝

MASATAKA TAKETSURU

北海道・余市で念願を叶えた
日本のウイスキーの父

「日本のウイスキーの父」とも呼ばれるニッカウヰスキーの創業者。「日本人に本物のウヰスキーを飲んでもらいたい」と願った竹鶴は本場スコットランドと似た気候風土を持つ北海道余市町に蒸溜所を建設。日本のウイスキーの誕生とその歴史に大きな貢献を果たし、彼のチャレンジ精神と波乱に満ちた人生はNHKの連続テレビ小説でも取り上げられ、大きな反響を呼びました。



チャレンジ精神あふれる 「北海道」を学ぼう!



北海道には、チャレンジ精神あふれる
”北海道発”がいっぱいあります。

がごめ昆布

GAGOME

食用以外にもさまざまな活用法が!
今後が期待される北海道食材

世界でも函館沿岸とその周辺にだけ生息しているといわれる昆布で、強い粘りがあるのが特徴。そのねばねば物質に豊富に含まれる「フコイダン」が美容や健康に良いとテレビなどで紹介されたことで、一気に人気に。昆布そのものを食べるだけでなく、成分を生かした健康補助食品や化粧品なども登場し、今後もさらなる展開が期待されています。

関連施設

北海道立工業技術センター

HOKKAIDO INDUSTRIAL TECHNOLOGY CENTER



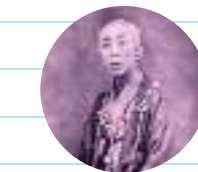
地域企業の事業活動を支援するため、産学官の連携を図り、各種事業を展開している施設。がごめ昆布のヘルスケア分野の研究開発をはじめ200品目以上の商品開発を行っています。

住所／函館市桔梗町379
お問合わせ先／0138-34-2600
開館時間／9:00～17:00

休館日／土曜、日曜、祝日、年末年始
料金／視察、見学は無料
<http://www.techakodate.or.jp/center/>

命名150年を迎えた北海道に チャレンジ精神が根付く理由

北海道は2018(平成30)年に「北海道」と命名されてから150年目の節目を迎えました。「北海道」という名称となったのは1869(明治2)年、名付け親は江戸時代の終わりから明治にかけて活躍した探検家の松浦武四郎です。松浦は新たな名称として6案を明治政府に提案。その中の「北加伊道」がもとになって「北海道」と命名されました。また、明治維新後、中央官庁の一つとして開拓使が設置された北海道では、本格的な開拓を進めるにあたり、当時アメリカ合衆国の農務局長を務めていたホーレス・ケブロンを筆頭に、農業、土木、鉱業等の外国人技術者を北海道に招聘。ケブロンや、現在の北海道大学の前身である札幌農学校の教頭として招かれたウィリアム・スミス・クラークらはアメリカ流のフロンティア精神を持って北海道開拓に大きな貢献を果たし、その精神は今も北海道にチャレンジ精神として根付き、産業や生活文化に色濃く残されています。



北海道の名付け親

松浦武四郎
(1818-1888)

幕末期にアイヌ民族の協力を得て蝦夷地や樺太、千島列島などを探検。多くの記録を残し、明治2年に政府がた札幌農学校の教頭として招かれ、専門の植物学のほか、自然科学一般を英語で教えた。8か月間と札幌での滞在期間は短かったが、日本の発展に大きな影響を与えた。

写真提供：三重県松阪市 松浦武四郎記念館



北海道開拓の父

ウィリアム・スミス・クラーク
(1826-1886)

北海道に近代技術を導入し開拓の人材を養成することを目的に誕生した札幌農学校の教頭として招かれ、専門の植物学のほか、自然科学一般を英語で教えた。8か月間と札幌での滞在期間は短かったが、日本の発展に大きな影響を与えた。

Keep
be
ambitious



オリンピックの 軌跡と感動を 発信！

オリンピックの開催を機に、国際的なスポーツ都市として発展した札幌には、その歴史と感動を発信する「札幌オリンピックミュージアム」があります。名誉館長で金メダリストの阿部雅司さんが、次世代に伝えたい事とは？

オリンピック開催を機に 国際的なスポーツ都市へ

札幌は、1972(昭和47)年に、アジア初となる冬季オリンピックが開催された夢の舞台。これを機に、札幌の街は国際的なウィンタースポーツ都市として大きな変貌を遂げました。当時オリンピック会場となり活躍した大倉山ジャンプ競技場、宮の森ジャンプ競技場、サッポロテイネ、美香保体育館などは今も健在。さらに現在は、札幌ドームも誕生し、数多くの国際大会などが開催されています。2017年に開催された冬季アジア札幌大会でもこれら新旧の施設で、熱戦が繰り広げられました。また、今や冬の北海道を代表する観戦型スポーツイベントとして人気を集めているスキージャンプ競技会は、1930(昭和5)年か

ら続く「宮様スキー大会国際競技会」が原点。その後、各局テレビ杯や数々の競技会などが行われるようになり、こうした土壌を背景に、2007年にはFISノルディックスキー世界選手権も開催されました。

次世代に知ってほしい 平和の祭典のすばらしさ

冬期間、氷点下の気温が続く北海道では、古くからスキーやスケートが冬の楽しみとして広まりました。選手の育成、技術の向上にも力を注ぎ、スキージャンプの葛西紀明、原田雅彦、船木和喜をはじめ、スピードスケートの岡崎朋美、清水宏保、長島圭一郎、橋本聖子、堀井学、モーグルの里谷多英など数多くのメダリストを輩出。ウィンタースポーツ王国にふさわしい文化と伝統を築き、受

け継いできました。1994年のリレハンメルオリンピックに出場し、ノルディックスキー複合団体で金メダルを獲得した阿部雅司さんも、小平町生まれの道産子。現在は「札幌オリンピックミュージアム」の名誉館長として、オリンピックの歴史や理念、ウィンタースポーツの魅力を伝えています。「当館は、2016年、オリンピックミュージアムネットワーク(OMN)への加盟が正式に認められ、世界各国との連携を深められる新たな施設として生まれ変わりました。オリンピックは、スポーツを通して文化や国籍などの違いを越え、平和な世界の実現を目指す“平和の祭典”。次世代を担う子どもたちにオリンピックの軌跡や理念を学んでもらい、意義のすばらしさを知ってほしいです」と阿部さん。

札幌オリンピックミュージアム
名誉館長

阿部 雅司

1965年、北海道小平町出身。中学時代にノルディック複合競技を始め、札幌の東海大学第四高等学校を卒業後、東京美装興業に入社。3度のオリンピック出場を果たし、リレハンメル大会ではノルディックスキー複合団体で金メダルを獲得。引退後は全日本のコーチとして、2014年ソチオリンピックのノルディックスキー複合のメダル獲得に貢献した。2016年より名寄市職員としてジャンプ競技の普及・指導に尽力している。

2017年に生まれ変わった「札幌オリンピックミュージアム」

ウィンタースポーツの ユニークな疑似体験を！

札幌オリンピックミュージアムでは、スキージャンプやアイスホッケーのゴールキーパー、ボブスレーなどさまざまなウィンタースポーツの疑似体験ができるのも魅力。阿部さんは「ウィンタースポーツに馴染みがなくても、ゲーム感覚で楽しみながら体感で

きるので、興味を持つきっかけになってくれたら嬉しいですね」と話す。ちなみに同館があるのは、札幌オリンピックの舞台となった「大倉山ジャンプ競技場」内。ジャンプ台の頂上まではリフトに乗って片道約8分で行けるので、迫力満点の急斜面やスタート地点からの雄大な景色を前に、選手の視点で臨場感が味わえるのも貴重な体験です。2020年は、いよいよ東京オ

リンピック・パラリンピックが開催。「オリンピック開催都市の札幌で、さまざまなスポーツへの理解・関心を深め、選手たちを応援し、一緒になって感動できる心を養ってほしいと思います」。

Pick up! Experience

体験ピックアップ

選手の気分が味わえる 疑似体験アトラクション

札幌オリンピックミュージアムは、6つのアトラクションでウィンタースポーツの疑似体験ができるのが特長。なかでも、大型映像スクリーンの前に立ってラージヒルジャンプの疑似体験ができるシミュレーターは迫力満点です。レースを体感できるクロスカンリースキー、スピードスケートのトレーニング用スライドボードなど、ほかではなかなか味わえないユニークな体験を通じて、ウィンタースポーツを身近に感じられます。

アクセス便利な都市型スキー場は レンタル、レッスンも充実！

札幌市内には、2017年の冬季アジア札幌大会の会場にもなった「サッポロテイネ」や「さっぽろばんけいスキー場」をはじめ、「札幌国際スキー場」、「フッズスノーエリア」など中心部から20～60分で気軽にアクセスできる都市型スキー場が数多くあります。スキー、スノーボード、ウェアなどのレンタルも充実。初心者向けの団体レッスンを実施しているスキー場が多く、冬の北海道ならではの体験学習におすすめです。

札幌オリンピック ミュージアム

オリンピックの貴重な遺産を展示。
競技を体感できる多彩なアトラクションもある。

お問合わせ先 TEL.011-641-8585
住所 北海道札幌市中央区宮の森1274 大倉山ジャンプ競技場内
営業時間 9:00～18:00 11/4～4/28は9:30～17:00(最終入館各30分前)
定休日 無休
入館料 高校生以上600(団体540)円、中学生以下無料 ※団体は15名以上
ウェブサイト <http://sapporo-olympicmuseum.jp/>



体験学習プログラム

- 1. オリンピックの起源と軌跡を知る**
そもそもオリンピックはなぜ始まったのか？まずは展示コーナーで、古代オリンピックの誕生から、近代オリンピックへの変遷や、その理念について学びます。
- 2. ウィンタースポーツシアター**
オリンピックの歴史や氷雪の上で繰り広げられた熱戦のドラマを、ダイナミックな映像で楽しめるシアターへ。ウィンタースポーツの世界にふれ、関心を高めます。
- 3. 選手の視点で疑似体験**
スキージャンプやアイスホッケー、ボブスレーなどさまざまなウィンタースポーツを疑似体験できるアトラクションで、その魅力を楽しみながら体感しましょう。

北海道のプロスポーツ



© H.N.F.



© 2017 CONSADOLE



© LEVANGA HOKKAIDO



© ESPOLADA HOKKAIDO



ヴォレアス北海道



北海道日本ハム
ファイターズ

2004年に本拠地を東京から北海道・札幌ドームへ移した北海道初のプロ野球チーム。地元ファンの声援を受け、移転後に5度のリーグ優勝、2度の日本一に輝く(2017年時点)。地域に密着したイベントや活動にも力を入れており、多くの北海道民に愛されています。



北海道
コンサドーレ札幌

2016年にチーム誕生20周年を迎えた北海道初のプロサッカーチーム。2017年J1昇格が決定、2018年には16年ぶりのJ1残留を決めました。2014年からは総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、サッカー以外の選手の育成にも取り組んでいます。



レバンガ
北海道

B.LEAGUE B1(1部)東地区に所属する北海道のプロバスケットボールチーム。現役最年長の折茂武彦選手がクラブ運営会社の代表を兼任する形で2011年に誕生し、チーム名は「ガンバレ」の逆さ言葉で、道民から応援してもらえるチームであり続けるという誓いが込められています。

Espolada™

エスポラーダ
北海道

室内で行えるフットサルは雪国の北海道でも広く親しまれており、そんなフットサル王国に2008年に誕生したプロチーム。道産子選手で日本トップリーグ「Fリーグ」に参戦し、2011年度には、日本サッカー界のレジェンド 三浦知良選手が電撃参戦したことで話題を集めました！



ヴォレアス
北海道

北海道旭川市を本拠地とする男子バレーボールチーム。名称はギリシャ神話の北風の神「ボレアス」に由来し、頭文字の「B」を「V」に置き換えて「ヴォレアス」に。2017/18シーズンからV・チャレンジリーグIIIに参戦しています。

名称・所属リーグに関しては、2018年1月現在の情報です。

WHAT SPORTS ARE YOU DOING?

北海道でウィンタースポーツにふれる

大倉山ジャンプ競技場



国際級のラージヒルジャンプ大会が開催されるジャンプ競技場。屋上展望台からはジャンプ競技選手の視点で雄大な景色を眺めることができます。

住所／札幌市中央区宮の森1274
お問合わせ先／011-641-8585(大倉山総合案内所)
営業時間／8:30～18:00
(冬季[11月4日～4月28日]は9:00～17:00)
定休日／ジャンプ大会、公式練習開催時、リフト整備期間
料金／リフト(往復):中学生以上500(団体450)円、小学生以下300(団体270)円
<http://okura.sapporo-dc.co.jp/>

どうぎんカーリングスタジアム



カーリングシート5シートを備え、初めてでも気軽にできる「カーリング教室」(要予約)を開催。国際大会を始めとした各種大会も行われています。

住所／札幌市豊平区月寒東1条9丁目(月寒体育館隣)
お問合わせ先／011-853-4572
営業時間／10:00～21:00
定休日／第3月曜(祝日の場合は第4月曜)、年末年始
料金／カーリングシート(1時間)一般1,500円・学生750円、カーリング用具一式(シューズ・スライダー・ブラシ)1人1回100円
※団体・修学旅行生は別途規定あり。詳しくはお問合わせください。
<http://www.shsf.jp/curling/>

藤野野外スポーツ交流施設「Fu's(フズ)」

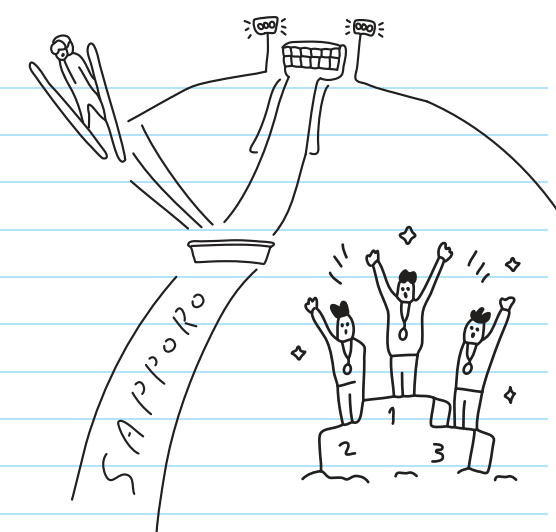


スキー、スノーボードに加え、スノーバイク、スノーシューなども充実のスキー場。日本でも珍しい「リ्यूージュコース」を併設し、リ्यूージュやスケルトンの体験もできます。

住所／札幌市南区藤野473-1
お問合わせ先／011-591-8111
営業時間／9:00～21:00
定休日／4月～5月下旬、11月～12月上旬
料金／リフト2時間券:大人1,200円、小・中学生900円
※修学旅行生は別途規定あり。詳しくはお問合わせください。
<http://www.shsf.jp/fujino-yagai-w>

2026年、札幌で再びオリンピックを！

1972年に札幌で開催されたアジア初となる冬季オリンピックが開催されてから40年余り――。札幌市では「感動をふたたび、そして未来へ」をコンセプトに掲げ、2026年北海道・札幌オリンピック・パラリンピックの誘致計画が着々と進められています。札幌市が目指すのは、豊かな自然、施設や道路などの都市機能、オリンピック開催地の実績を最大限に生かした、札幌発の「人と地球と未来にやさしい大会」を実現すること。バリアフリーなまちづくりへの動きを加速させるなど都市のリニューアル、国際的なウィンタースポーツ都市としての地位を高めていくことも重要なテーマです。2026年は、今の中学生、高校生が、ちょうど社会へ巣立つタイミング。再び冬季オリンピック、初のパラリンピックが開催されることは、子どもたちに大きな夢と希望を与え、札幌への愛着と誇りを育む絶好の機会となることでしょう。札幌オリンピックミュージアムの名誉館長を務める阿部雅司さんは「次世代を担う子供たちのために、札幌・北海道ならではの“平和の祭典”を目指し、尽力したいと思います。オリンピックの感動が再び札幌を熱くする日が待ち遠しいです」と期待を寄せています。





安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄

美唄市
A

小学校跡地を中心とした広大な敷地に、自然と調和する約40点の作品が配置された、彫刻美術館。自分の心と向き合いながら石を彫る「こころを彫る授業」も実施しています。

- 住所／美唄市落合町栄町 ●お問合わせ先／0126-63-3137
- 営業時間／9:00～17:00
- 定休日／火曜、祝日の翌日(日曜日は除く)、年末年始
- 料金／無料
- <http://www.artepiazza.jp/>

注目の 周辺スポット情報

北海道は
まだまだ広い！

道央・道南エリアから少し足を伸ばして、
北海道でさらに学ぼう！
新千歳空港から片道1時間～2時間半ほどで
行ける教育旅行におすすめのスポットを
ご紹介します！

夕張市石炭博物館

夕張市
D

かつて日本の近代化を支えた石炭で栄えた夕張の歴史を学べる博物館。地下展示施設の「模擬坑道」は本物の坑道を活用しています。現在、改修工事中で2018年春に全面リニューアルオープン予定。詳細は市のHPにてご確認ください。

- 住所／夕張市高松7-1
- お問合わせ先／0123-52-3166(夕張市教育委員会)
- <https://www.city.yubari.lg.jp/>



写真提供:旭川市旭山動物園



旭川市旭山動物園

旭川市
B

動物が本来持っている生態を観察できる“行動展示”で一躍有名になった、日本最北の動物園。動物へのエサやりガイド「もぐもぐタイム」に合わせて見学計画を立てるのもオススメです。

- 住所／旭川市東旭川町倉沼 ●お問合わせ先／0166-36-1104
- 営業時間／9:30～17:15(季節によって異なる)
- 定休日／年度によって異なる ●料金／高校生以上820(団体720)円、中学生以下無料 ※団体は25名以上
- <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/asahiyamazoo/>

画像提供:ファーム富田



ファーム富田

中富良野町
C

ラベンダーを中心に季節の花々のコントラストが魅力。日本最大級の観光ファームです。ポプリショップ、アロマ工房あり。「ラベンダーソフトクリーム」は人気のスイーツ。

- 住所／中富良野町基線北15号
- お問合わせ先／0167-39-3939
- 営業時間／8:30～18:00(季節によって変動あり)
- 定休日／期間中は無休(冬期は休園)
- <http://www.farm-tomita.co.jp/>



しかりべつ湖 ネイチャーセンター

しかりべつ
鹿追町
E

大雪山国立公園「然別湖畔」の魅力を紹介してくれる、経験豊富なガイドが常駐。夏は川へ、森へ、冬は然別湖上の大雪原へと、四季を通して多彩なネイチャー体験ができます。

- 住所／鹿追町然別湖畔 ●お問合わせ先／0156-69-8181
- 営業時間／9:00～18:00 ●定休日／年末年始
- 料金／修学旅行は、カナディアンカヌー(1時間30分、10名～50名まで):小学生1,728円、中・高校生2,160円、エアドリブ(2時間30分、10名～45名まで):小・中・高校生4,630円 ※小学4年生以上※要予約



サホロリゾート ベア・マウンテン

しほろ町
新得町
F

北海道を代表するエゾヒグマたちに出合えるスポット。高さ5mの遊歩道やベアウォッチングバスから眺めたり、距離がわずか4cmのガラス越しにエゾヒグマを見ることがもできます。

- 住所／新得町狩勝高原 ●お問合わせ先／0156-64-7007
- 営業期間／9:00～16:00(4月下旬～10月下旬)
- 定休日／冬期間休業 ●料金／修学旅行は、入場料:小学生756円、中学生1,080円、高校生1,296円、追加540円でバス付き入場券、先生・添乗員は無料 ※要予約
- <http://bear-mt.jp/>

アポイ岳 ユネスコ世界ジオパーク

さまに
様似町
G

地球深部のマントルの情報をそのまま持っているかんらん岩でできており、世界的に注目されている「アポイ岳」。国の特別天然記念物に指定されている高山植物群落から自然環境を学べます。また、江戸幕府によって開削された「様似山道」から歴史を学ぶこともできます。

- 住所／様似町大通1-21 ●お問合わせ先／0146-36-2120
- (アポイ岳ジオパーク推進協議会事務局)
- <http://www.apoi-geopark.jp/>





北海道新幹線を利用したモデルコース



北の大地へつながった新幹線で、
北海道の歴史や文化を感じる旅へ。



2016年3月26日に開業した北海道新幹線に乗って、いざ北海道へ！新幹線でつながった道南エリア、さらには道央エリアに広がるのは、北海道ならではの歴史・文化・自然・食、そして未来を感じる学び場。子どもたちの“これから”につながる貴重な体験の旅に出掛けましょう。



2泊3日

往路／新幹線
復路／航空便

未来につながる
「自然共生」を学ぶコース



2泊3日

往路／航空便
復路／新幹線

アイヌの歴史と
文化を深く学ぶコース



2泊3日

往路／新幹線
復路／新幹線

日本の歴史と
道南の文化を学ぶコース



3泊4日

往路／航空便
復路／新幹線

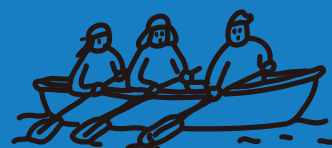
北海道の営みと
食の大切さを学ぶコース



3泊4日

往路／新幹線
復路／航空便

北海道で未来を感じる
3泊4日コース



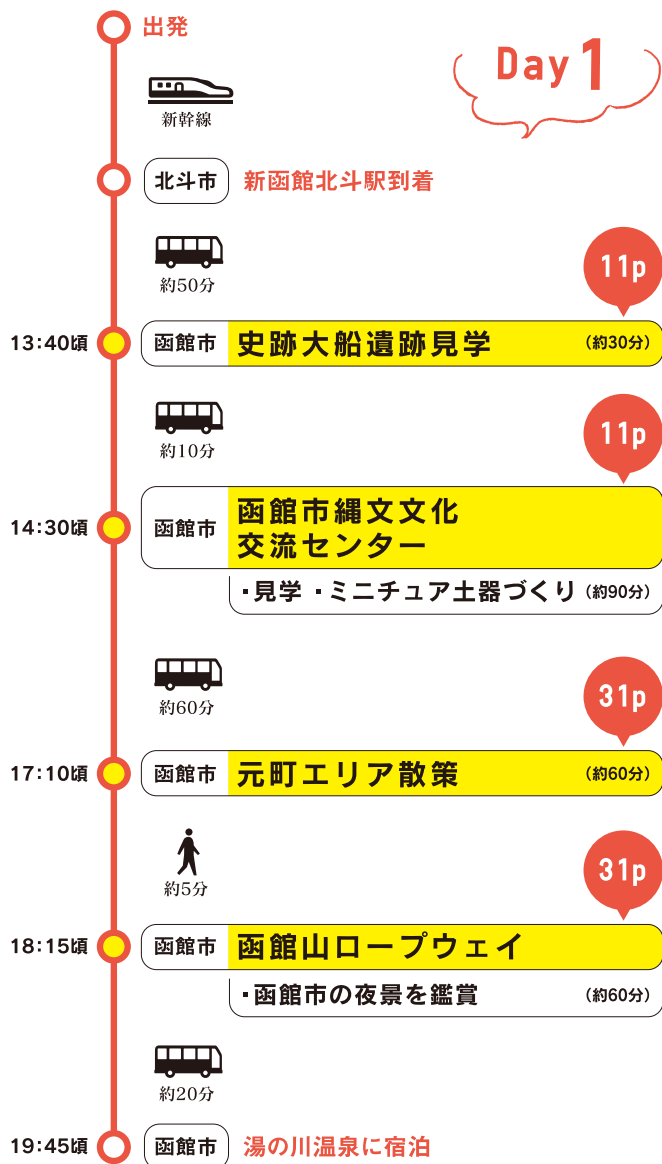


未来につながる 「自然共生」を学ぶコース

2泊3日

往路／新幹線
復路／航空便

縄文文化の史跡やアイヌ文化を紹介する施設、
ユネスコ認定の世界ジオパークなどを巡り、
これからの時代に必要とされる自然共生を考えます。



西山山麓火口散策路

洞爺湖





アイヌの歴史と文化を深く学ぶコース

2泊3日

往路／航空便
復路／新幹線

北海道・白老町に広がる「民族共生象徴空間」をはじめ、北海道でしか学べないアイヌの歴史や文化への理解を深めるコースです。



出発



飛行機

千歳市

新千歳空港到着

昼食



約30分

24p

13:10頃

千歳市

北海道箱根牧場見学

(約30分)



約80分

8p

15:10頃

平取町

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

- ・見学・アイヌについての講話
- ・舞踏体験

(約120分)



約95分

18:55頃

登別市

登別温泉に宿泊

Day 2

9:00頃

登別市

登別温泉を出発



約5分

32p

9:15頃

登別市

登別地獄谷散策

(約30分)



約30分

7p

10:25頃

白老町

民族共生象徴空間見学

2020年開設

- ・見学・講話・昼食
- ・ムックリ製作など

(約240分)



約190分

31p

17:45頃

函館市

函館山ロープウェイ

- ・函館市の夜景を鑑賞

(約40分)



約15分

18:50頃

函館市

函館市内に宿泊

Day 1

9:30頃

函館市

函館市内を出発



約10分

31p

9:40頃

函館市

函館市内研修

- ・函館朝市・元町エリア
- ・昼食など

(約180分)



約5分

8p

12:55頃

函館市

函館市北方民族資料館

- ・見学
- ・北方民族文様の切り紙細工体験(約50分)



約35分

北斗市

新函館北斗駅到着



新幹線

帰着

Day 3

民族共生象徴空間(2020年4月24日(金)開設予定)

(提供:文化庁)



※画像はイメージです。



(提供:文化庁)

※画像はイメージです。



日本の歴史と 道南の文化を学ぶコース

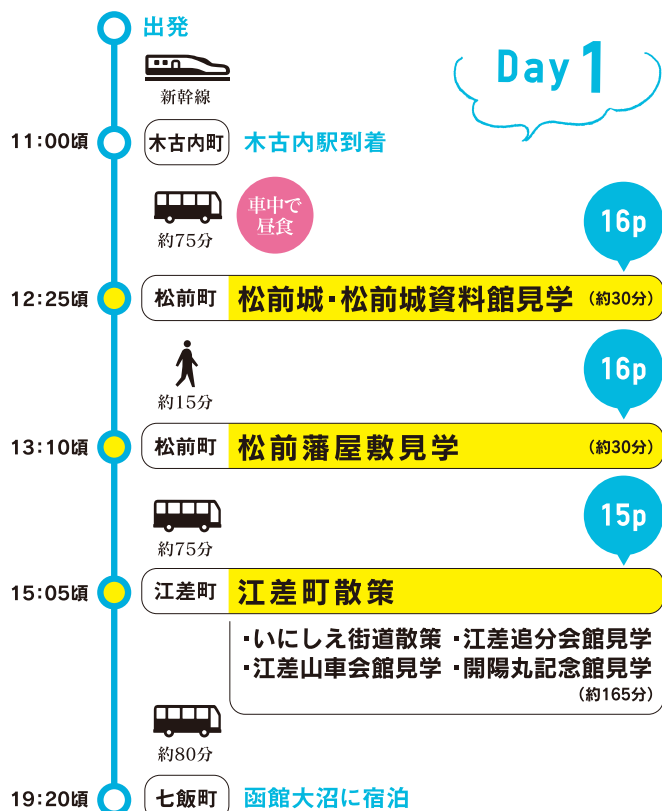
2泊3日

往路／新幹線
復路／新幹線

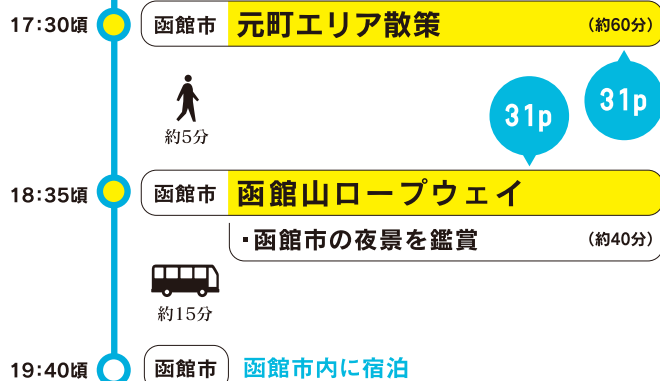
道南エリアに残る歴史的資産や文化を巡り、
縄文時代や江戸から幕末の空気を肌で感じることで、
日本の歴史文化への理解を高めます。



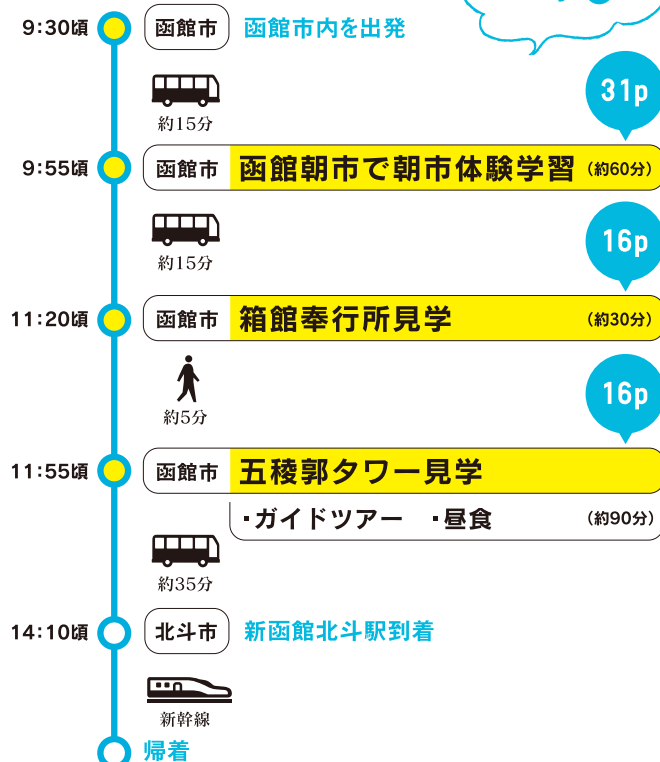
Day 1



Day 2



Day 3



3泊4日

開拓や炭鉱など、北海道の営みの歴史を辿り、
酪農や農業、朝市でのお土産販売なども体験し、
食の大切さについても学びます。



Day 1

飛機



約65分

車中で
昼食

41p



約85分

8p



約40分

31 p

約60分



31p

約45分

Day 2

約80分

24p

8p



20p

約90分



約90分



約45分

Day 3



約155分

31p

23p



約15分

11

Day 4

約30分

31 p



約5分

36 p



新幹線

歸着

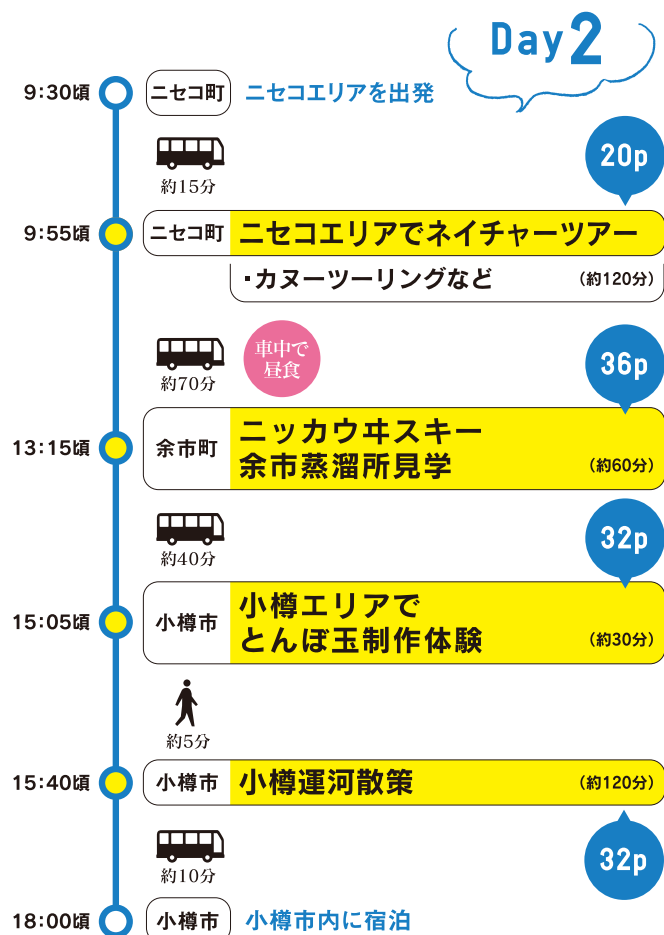
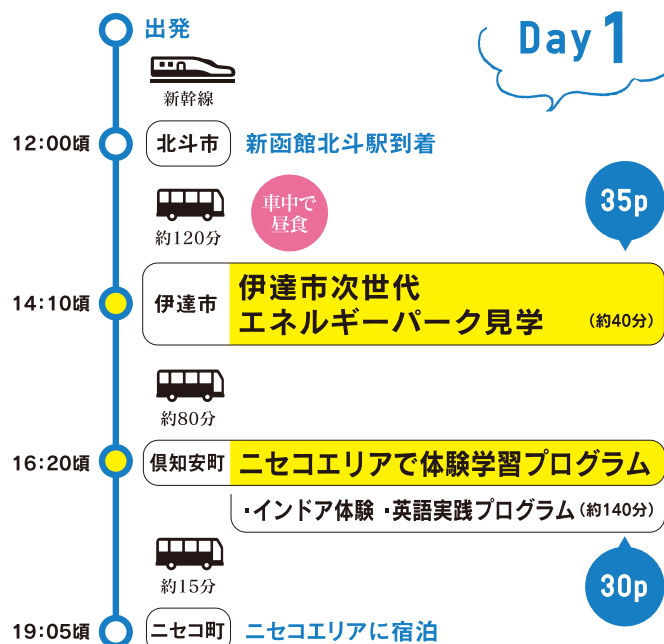


北海道で未来を感じる 3泊4日コース

3泊4日

往路／新幹線
復路／航空便

国際的な観光地・ニセコやロケット開発を進める
植松電機など、これからの未来を体感できる
施設を3泊4日で周ります。



新幹線で近くなった 学び場・北海道へ！

青森から1時間1分、仙台からも2時間半でアクセス！
北海道新幹線の開業で、北海道と東北はぐっと近くなりました。



北海道新幹線
つなげる応援大使
どこでもユギちゃん



北海道新幹線

「はやぶさ」と「はやて」が首都圏・東北～北海道を
ダイレクトに結び、北海道への教育旅行に訪れる
重要手段として活躍しています。

所要時間(最速)

新青森～新函館北斗	1時間1分
盛岡～新函館北斗	1時間50分
仙台～新函館北斗	2時間30分

運行本数

	東京	上野	大宮	仙台	古川	新青森	盛岡	新函館北斗
はやぶさ	●	●	●	●	●	●	●	●
はやぶさ	●	●	●	●	●	●	●	●
はやて	●	●	●	●	●	●	●	●
はやて	●	●	●	●	●	●	●	●

新函館北斗駅～函館駅間が最速15分 「はこだてライナー」



函館～新函館北斗間は新
幹線アクセス列車「はこだ
てライナー」(基本3両編
成)が運行。全ての新幹線
と接続を図ります(16往
復設定)。

北海道内には高速道路が充実。
道内の主要都市に車両で
スムーズに移動できます。

札幌から主要都市への所要時間 高速を使って道内主要都市へ

小樽まで	約47分
千歳まで	約45分
苫小牧まで	約1時間7分
室蘭まで	約1時間49分
函館まで	約4時間17分
帯広まで	約3時間
釧路まで	約4時間41分
根室まで	約6時間41分
北見まで	約4時間27分
網走まで	約5時間10分
富良野まで	約2時間2分
旭川まで	約1時間49分
稚内まで	約5時間9分

北海道内の距離と アクセス時間

車両を利用した場合の目安時間です。
地図では近く見える北海道ですが、
実際の距離は離れている場合が
ありますので、ゆとりを持った
スケジュールが大切です。

飛行機

青森～新千歳空港	約45分
いわて花巻～新千歳空港	約55分
山形～新千歳空港	約1時間10分
秋田～新千歳空港	約55分
仙台～新千歳空港	約1時間10分
新潟～新千歳空港	約1時間10分
福島～新千歳空港	約1時間20分
三沢～丘珠空港	約1時間

※LCCは含みません。
※2017年12月現在 各航空会社で公表されている所要時間から引用。

フェリー

大間～函館	約1時間30分	秋田～苫小牧	約10時間
青森～函館	約3時間40分	仙台～苫小牧	約15時間20分
新潟～小樽	約18時間	新潟～苫小牧	約18時間
八戸～苫小牧	約7時間15分	室蘭～宮古	約10時間

(2018年6月運行開始)



576km 11:02	440km 8:25	434km 8:27	366km 7:02	354km 6:48	315km 6:07	332km 6:17	257km 6:17	416km 7:55	396km 7:14	469km 8:34	330km 5:56	412km 7:31	516km 9:19	稚内
686km 13:12	529km 10:10	510km 9:51	442km 8:26	445km 8:25	452km 8:53	492km 9:52	367km 7:04	244km 4:28	157km 2:52	124km 2:15	186km 3:23	186km 3:26	根室	
684km 13:20	527km 10:18	509km 9:59	440km 8:34	443km 8:33	420km 8:01	449km 9:36	256km 5:51	256km 5:04	229km 3:48	173km 3:24	82km 1:35	知床外口		
618km 12:04	461km 9:02	441km 8:43	374km 7:18	377km 7:17	359km 7:38	387km 8:13	229km 4:28	189km 3:48	149km 1:45	149km 2:50	網走			
563km 11:12	406km 8:10	387km 7:51	319km 6:26	322km 6:25	328km 6:53	369km 7:52	292km 5:51	292km 5:51	121km 2:28	74km 1:33	釧路			
551km 10:39	394km 7:37	374km 7:18	307km 5:53	310km 5:52	318km 6:20	368km 7:18	237km 4:40	237km 4:40	122km 2:23	阿寒湖				
443km 8:44	286km 5:42	266km 5:23	199km 3:58	202km 3:57	208km 4:25	249km 5:24	191km 3:53	191km 3:53	帯広					
379km 8:19	242km 5:25	237km 5:27	169km 4:02	157km 3:48	130km 3:10	159km 3:45	旭川							
234km 4:46	117km 2:33	163km 3:38	105km 3:02	105km 2:35	84km 1:11	39km	小樽							
249km 5:09	101km 2:19	133km 3:16	66km 1:51	45km 1:24	21km 0:31	札内								
254km 5:03	96km 2:01	88km 1:56	21km 0:31	新千歳空港										
247km 4:50	90km 1:48	68km 1:25	苫小牧											
195km 4:00	52km 1:14	室蘭												
157km 3:02	洞爺湖													
函館														

・上段は一般道のみ利用した場合の距離(km)です。
・下段は所要時間(時:分)
※距離と所要時間は時間優先経路での大まかな目安です。
※参照元:北の道ナビ

